2023年10月3日

東洋大学大学院

〈博士前期・修士課程　博士後期課程〉

文学研究科
社会学研究科
法学研究科
経営学研究科
経済学研究科
国際学研究科
国際観光学研究科

入学試験要項

2023年秋入学／2024年4月入学

- 本要項は、学内推薦入試および渡日前入試以外の入学試験受験のための内容となります。本要項以外の入試に関する情報は、本学Webサイトで確認をしてください。
- 本要項には、出願から入学手続までのすべての事項が記載してあります。出願前に必ず確認し、不備のないよう十分に注意してください。
- なお、本要項の内容等に変更・訂正等が生じた場合および、自然災害等の特別措置が生じた場合は、本学Webサイトに随時掲載します。
- 大学院入試はインターネット出願で行います。本学Webサイトから「操作手順」に従って出願してください。出願登録は出願開始日の3日前から可能です。なお、合格後の各種登録手続、申請もインターネットが利用できる環境が必要となりますのでご準備ください。

インターネット出願はこちらのＵＲＬから　⇒　https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/
本要項に変更が出た場合もこちらのＵＲＬでお知らせします。

東洋大学

目　　次

入学定員等 ……1
入試日程 ……2
入試実施月早見表 ……4
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） ……5
出願資格 ……10
出願資格の事前審査 ……11
出願手続 ……12
受験上の注意事項 ……14
試験当日、交通機関に乱れが生じている場合 ……14
学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項 ……14
受験生の皆さんへお願い ……14
試験時間中の注意事項 ……15
合格発表・入学手続 ……16
在留資格 ……16
専門実践教育訓練給付の事前手続について ……16
納付金 ……17
入学手続後の入学辞退と納付金の返還について ……17
試験区分・科目・時間割
〔一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・JICA ボランティア入試・地方創生入試〕
試験区分早見表 ……18
文学研究科 ……19
社会学研究科 ……28
法学研究科 ……31
経営学研究科 ……33
経済学研究科 ……39
国際学研究科 ……42
国際観光学研究科 ……45
出願書類一覧 ……47
東洋大学教育ローン ……53
入試結果 ……54
アクセスマップ・試験会場（白山キャンパス）案内図

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事前教育等と、これらに付随する事項を目的として使用します。なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、委託先に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

【問い合わせ先】

学内推薦入試および渡日前入試、他キャンパス研究科の入試要項および科目等履修生・大学院研究生・外国人研修生の出願についての要項は別に作成しておりますので、本学 Web サイトをご確認ください。各研究科の担当窓口は下記の通りです。

研究科名	担当窓口	TEL
文学、社会学、法学、経営学、経済学、国際学、国際観光学	大学院教務課	03-3945-7251 mldaig-ad@toyo.jp
理工学、総合情報学	川越教学課	049-239-1313
生命科学、食環境科学	板倉事務課	0276-82-9119
情報連携学	赤羽台事務課（INIAD HUB-1）	03-5924-2612
社会福祉学、ライフデザイン学、健康スポーツ科学	赤羽台事務課（WELLB HUB-2）	03-5924-2164

入学定員等

2023 年秋入学

研究科	専攻	入学定員 博士課程 前期課程	入学定員 博士課程 後期課程	入学定員 修士課程	授業形態 ※1	長期履修 ※2	修学キャンパス
経営学	ビジネス・会計ファイナンス (中小企業診断士登録養成コース除く)	28 名※3	3 名	—	夜	有	白山
経済学	公民連携	—	—	30 名	(2023 年度) 夜 (2024 年度) 昼夜		(2023 年度) 白山・大手町 (2024 年度) オンデマンド等・白山 ※4
国際学	グローバル・イノベーション学	—	—	10 名	昼夜		白山
	国際地域学	15 名	5 名	—	昼夜		
国際観光学	国際観光学	15 名	3 名	—	昼夜		

2024 年 4 月入学

研究科	専攻	入学定員 博士課程 前期課程	入学定員 博士課程 後期課程	入学定員 修士課程	授業形態 ※1	長期履修 ※2	修学キャンパス
文学	哲学	5 名	3 名	—	昼	有	白山
	インド哲学仏教学	4 名	3 名	—	昼		
	日本文学文化	10 名	3 名	—	昼		
	中国哲学	4 名	3 名	—	昼		
	英文学	5 名	3 名	—	昼夜		
	史学	6 名	3 名	—	昼夜		
	教育学	20 名	4 名	—	昼夜		
	国際文化コミュニケーション	10 名	3 名	—	昼		
社会学	社会学	10 名	3 名	—	昼夜		
	社会心理学	12 名	5 名	—	昼		
法学	私法学	10 名	5 名	—	昼夜		
	公法学	10 名	5 名	—	昼夜		
経営学	経営学･マーケティング	22 名	4 名	—	昼夜		
	ビジネス・会計ファイナンス (中小企業診断士登録養成コース除く)	28 名※3	3 名	—	夜		
	ビジネス・会計ファイナンス (中小企業診断士登録養成コース)		—	—	夜	無	
経済学	経済学	10 名	3 名	—	昼夜	有	
	公民連携	—	—	30 名	昼夜		オンデマンド等・白山 ※4
国際学	グローバル・イノベーション学	—	—	10 名	昼夜		白山
	国際地域学	15 名	5 名	—	昼夜		
国際観光学	国際観光学	15 名	3 名	—	昼夜		

※1　本学はセメスタ制となります。また記載されている授業形態は 2023 年 4 月 1 日現在のものとなります。変更の場合は本学 Web サイトでお知らせします。

※2　長期履修制度は博士前期・修士課程のみ対象です（ただし、経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻（中小企業診断士登録養成コース）および経済学研究科公民連携専攻プロフェッショナルコースを除く）。
申請方法等詳細は本学 Web サイト（https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/long/）でご確認ください。

※3　ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程 28 名の入学定員数には、同専攻中小企業診断士登録養成コースの 24 名を含みます。

※4　経済学研究科公民連携専攻は、将来構想の実施に伴い、2024 年度 4 月より平日の講義はオンデマンドまたは同時双方向型授業、平日の演習は夜間にオンライン、土曜日の講義・演習は白山キャンパス対面で実施します。（2023 年度秋入学の学生は、2023 年秋学期のみ平日は大手町サテライト、土曜日は白山キャンパスでの修学となります。また 2024 年 4 月から開講形態は昼夜開講となります。）

入試日程

詳細は、各研究科の入試内容を参照してください。

2023 年秋入学のための入試

◆2023 年 8 月試験◆【博士前期・修士課程、博士後期課程（ビジネス・会計ファイナンス、国際地域学、国際観光学専攻）】

<table>
<tr><th>研究科</th><th>専攻</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格発表日</th><th>手続期間</th></tr>
<tr><td>経営学</td><td>ビジネス・会計ファイナンス
（中小企業診断士登録養成コースは除く）</td><td rowspan="4">2023 年
7 月 7 日（金）
～
7 月 14 日（金）</td><td rowspan="4">2023 年
8 月 26 日（土）</td><td rowspan="4">2023 年
8 月 31 日（木）</td><td rowspan="4">2023 年
8 月 31 日（木）
～
9 月 6 日（水）</td></tr>
<tr><td>経済学</td><td>公民連携
（標準コースのみ）</td></tr>
<tr><td>国際学</td><td rowspan="2">全専攻</td></tr>
<tr><td>国際観光学</td></tr>
</table>

2024 年 4 月入学のための入試

◆2023 年 8 月試験◆【博士前期・修士課程、博士後期課程（私法学、公法学、経済学、国際地域学、国際観光学専攻）】

<table>
<tr><th>研究科</th><th>専攻</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格発表日</th><th>手続期間</th></tr>
<tr><td>文学</td><td rowspan="3">全専攻</td><td rowspan="6">2023 年
7 月 7 日（金）
～
7 月 14 日（金）</td><td rowspan="6">2023 年
8 月 26 日（土）</td><td rowspan="6">2023 年
9 月 7 日（木）</td><td rowspan="6">■[第 1 次手続]
2023 年
9 月 7 日（木）
～
9 月 14 日（木）

■[第 2 次手続]
2024 年
2 月 29 日（木）
～
3 月 6 日（水）</td></tr>
<tr><td>社会学</td></tr>
<tr><td>法学</td></tr>
<tr><td>経営学</td><td>全専攻
（ビジネス・会計ファイナンス専攻
中小企業診断士登録養成コースは除く）</td></tr>
<tr><td>経済学</td><td rowspan="3">全専攻</td></tr>
<tr><td>国際学</td></tr>
<tr><td>国際観光学</td></tr>
</table>

◆2023 年11月試験◆【博士前期・修士課程】

<table>
<tr><th>研究科</th><th>専攻</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格発表日</th><th>手続期間</th></tr>
<tr><td rowspan="2">経営学</td><td>ビジネス・会計ファイナンス
（中小企業診断士登録養成コース）</td><td rowspan="4">2023 年
11 月 6 日（月）
～
11 月 10 日（金）</td><td rowspan="4">2023 年
11 月 26 日（日）</td><td rowspan="4">2023 年
12 月 6 日（水）</td><td>2023 年
12 月 6 日（水）
～
12 月 13 日（水）</td></tr>
<tr><td>全専攻
（ビジネス・会計ファイナンス専攻
中小企業診断士登録養成コースは除く）</td><td rowspan="3">■[第 1 次手続]
2023 年
12 月 6 日（水）
～
12 月 13 日（水）

■[第 2 次手続]
2024 年
2 月 29 日（木）
～
3 月 6 日（水）</td></tr>
<tr><td>経済学</td><td>公民連携</td></tr>
<tr><td>国際学</td><td>グローバル・イノベーション学</td></tr>
</table>

◆2024 年 2 月試験◆【博士前期・修士課程、博士後期課程】

<table>
<tr><th>研究科</th><th>専攻</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格発表日</th><th>手続期間</th></tr>
<tr><td>文学</td><td rowspan="4">全専攻</td><td rowspan="7">2024 年
1 月 4 日（木）
～
1 月 11 日（木）</td><td rowspan="4">文学
社会学
法学
国際観光学

2024 年
2 月 17 日（土）</td><td rowspan="7">2024 年
2 月 29 日（木）</td><td rowspan="7">2024 年
2 月 29 日（木）
～
3 月 6 日（水）</td></tr>
<tr><td>社会学</td></tr>
<tr><td>法学</td></tr>
<tr><td>国際観光学</td></tr>
<tr><td>経営学</td><td>全専攻
（ビジネス・会計ファイナンス専攻
中小企業診断士登録養成コースは除く）</td><td rowspan="3">経営学
経済学
国際学

2024 年
2 月 18 日（日）</td></tr>
<tr><td>経済学</td><td>経済学</td></tr>
<tr><td>国際学</td><td>全専攻</td></tr>
</table>

◆2024 年 2 月試験◆【博士前期課程】

<table>
<tr><th>研究科</th><th>専攻</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格発表日</th><th>手続期間</th></tr>
<tr><td>経営学</td><td>ビジネス・会計ファイナンス
（中小企業診断士登録養成コース）</td><td>2024 年
1 月 15 日（月）
～
1 月 19 日（金）</td><td>2024 年
2 月 18 日（日）</td><td>2024 年
2 月 29 日（木）</td><td>2024 年
2 月 29 日（木）
～
3 月 6 日（水）</td></tr>
</table>

※中小企業診断士登録養成コースは出願期間が異なりますのでご注意ください。

◆2024 年 3 月試験◆【修士課程】

<table>
<tr><th>研究科</th><th>専攻</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格発表日</th><th>手続期間</th></tr>
<tr><td>経済学</td><td>公民連携</td><td>2024 年
2 月 9 日（金）
～
2 月 15 日（木）</td><td>2024 年
3 月 2 日（土）</td><td>2024 年
3 月 6 日（水）</td><td>2024 年
3 月 6 日（水）
～
3 月 12 日（火）</td></tr>
</table>

入試実施月早見表

専攻により実施している試験区分・実施月が異なります。以下の表でご確認ください。
枠内に書かれている月に受験することができます。
なお、社会人や外国人留学生の方も出願資格を満たしていれば一般入試を受験できます。

【2023 年秋入学】

研究科	専攻	コース	博士前期・修士課程					博士後期課程				
			一般	社会人	外国人留学生	JICA/地方創生※1	学内推薦※2	一般	社会人	外国人留学生	JICA※1	学内推薦※2
経営学	ビジネス・会計ファイナンス※3※4	企業家・経営幹部養成	8月		—	—	—	8月		—	—	8月
		会計ファイナンス専門家養成			8月							
経済学	公民連携	標準	8月				—	—				
国際学	グローバル・イノベーション学		8月			—	8月	—				
	国際地域学					8月		8月				
国際観光学	国際観光学		8月					8月			—	8月

【2024 年 4 月入学】

研究科	専攻	コース	博士前期・修士課程					博士後期課程				
			一般	社会人	外国人留学生	JICA/地方創生※1	学内推薦※2	一般	社会人	外国人留学生	JICA※1	学内推薦※2
文学	哲学		8･2月	8･2月	—	—	8･2月	2月	—	—	—	—
	インド哲学仏教学				8･2月	—			—	2月	—	2月
	日本文学文化					—			2月		—	
	中国哲学					—				—	—	—
	英文学				—	—			—	—	—	2月
	史学	日本史学		2月	—	—			2月	—	—	
		東洋史学										
		西洋史学										
	教育学			8･2月	—	—				—	—	
	国際文化コミュニケーション				8･2月	—				2月	—	
社会学	社会学※4	現代社会学	8･2月			—	8･2月	2月			—	—
		社会文化共生学										
		メディアコミュニケーション学										
		社会実践学										
	社会心理学					—					—	—
法学	私法学		8･2月			—	8･2月	2月		8･2月	—	2月
	公法学					—					—	
経営学	経営学・マーケティング		8･11･2月			—	8･2月	2月			—	2月
	ビジネス・会計ファイナンス※4	企業家・経営幹部養成	8･11･2月		—	—		2月		—	—	
		会計ファイナンス専門家養成	8･11･2月			—				—	—	
		中小企業診断士登録養成	11･2月		—	—	2月	—				
経済学	経済学		8･2月			—	8･2月	2月	8･2月	2月	—	2月
	公民連携	標準	8･11･3月					—				
		プロフェッショナル	—	8･11･3月	—	8･11･3月	—	—				
国際学	グローバル・イノベーション学		8･11･2月			—	8･2月	—				
	国際地域学		8･2月					8･2月				2月
国際観光学	国際観光学		8･2月					8･2月			—	2月

※1　JICA ボランティア入試は、国際学研究科国際地域学専攻博士前期課程、博士後期課程および国際観光学研究科国際観光学専攻博士前期課程のみ実施します。
地方創生入試は、経済学研究科公民連携専攻のみ実施します。

※2　学内推薦入試の要項は別にあります。詳細は以下の本学 Web サイトでご確認ください。
https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/hakusan/

※3　経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程のうち、中小企業診断士登録養成コースは、秋入学での受入を行っておりません。

※4　社会学研究科社会学専攻博士後期課程および経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程は、コース分けがありません。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

研究科	専攻別　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
文学	**哲学専攻** 本専攻の目的に即して、理論哲学と実践哲学のどちらを中心にするにしても、両方の統合に努力し、社会における諸問題に関して統合的哲学研究を通して解決する能力を有する人材の養成に努めるべく、それにふさわしい知識、能力、意欲のある人材を受け入れる。 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 問題の中心的な課題を見出すための知識のある者 ⑵ 解決の選択肢を複数個設定することのできる能力のある者 ⑶ 上記に必要な持続的な作業を支える意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 問題の中心的な課題を見出し、さらに新たな問題そのものを発見していくための知識のある者 ⑵ 解決の選択肢を複数個設定し、手続き的な優先順位を決めることのできる能力のある者 ⑶ 上記に必要な持続的な作業を発展的に支える意欲のある者
	インド哲学仏教学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 当該分野に関して基本的で広汎な知識のある者 ⑵ 誠実で自らを律しながら研究に取り組み、研究資料を十分に読解し、その成果を体系的に表現できる能力のある者 ⑶ 研究対象に主体的に真摯に取り組み、必要に応じて協働で研究するなどの意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 当該分野に関する広汎かつ高度な知識と研究動向についての知識のある者 ⑵ 研究領域に関わる語学能力と独創的研究に耐えうる能力のある者 ⑶ 自立的に研究を進め、研究者としての社会的倫理性を高める意欲のある者
	日本文学文化専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 日本語・日本文学の基礎知識のある者 ⑵ 文学の基礎的読解力、外国語・漢文の基礎的能力のある者 ⑶ 国際的視野に基づく文化の継承と創造への参画に意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 高度な専門知識と論理性を持つ修士論文を執筆できる能力を有している者 ⑵ 日本語・日本文学の専門知識のある者 ⑶ 外国語の基礎的能力のある者 ⑷ 国際的視野に基づく文化の継承と創造への参画に意欲のある者
	中国哲学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 中国哲学・中国文学・中国語に関する基礎的知識のある者 ⑵ 文献の基本的読解能力をもち、文献を扱う基本的な訓練を経ている者 ⑶ 中国哲学・文学研究に、専門的に取組もうとする意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 中国哲学・中国文学・中国語に関する高度な知識のある者 ⑵ 優れた文献読解能力を持ち、文献の扱いに習熟した能力のある者 ⑶ 中国哲学・文学研究を深化させ、研究成果を研究論文の作成を通して発表してゆく意欲のある者

研究科	専攻別　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
文学	**英文学専攻** 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 基本的な英語運用能力と英米文化に関する知識のある者 ⑵ 自己啓発に熱意をもって取り組む能力のある者 ⑶ 誠実に自らを律しつつ、研究に取り組む意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 博士前期課程修了程度の英語運用能力と英米文化に関する知識のある者 ⑵ 創造的研究に耐えうる能力のある者 ⑶ 研究者として社会的倫理性を高めようとする意欲のある者
	史学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 歴史について基本的な知識のある者 ⑵ 史料の解読能力、総合的な思考力・判断能力があり、学修成果を正確に伝えるコミュニケーション能力のある者 ⑶ 歴史研究の基礎となる専門的な知識や歴史学的な研究方法を、主体的に学ぶ意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 歴史についての基本的な知識、専門とする領域についての専門的な知識のある者 ⑵ 歴史学的な研究方法を修得し、優れた研究能力があり、新たな知見を学界・社会に伝えるコミュニケーション能力のある者 ⑶ 歴史について広い視野と深い学識があり、研究に主体的に取り組む意欲のある者
	教育学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 教育学や心理学のほか現代の教育問題や関連諸分野についての一般的知識のある者。 ⑵ 文献読解や論文作成、調査など研究に必要な基礎的能力のある者。 ⑶ 教育に対する深い関心と広い視野を持ち、真理の探究と研究を通じた社会貢献に対して意欲を持つ者。 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 教育学や心理学のほか現代の教育問題や関連諸分野についての広範な知識のある者。 ⑵ 文献読解や論文作成、調査など研究に必要な能力のある者。 ⑶ 教育に対する深い関心と広い視野を持ち、真理の探究と研究を通じた社会貢献に対して高い倫理観と志を持つ者。
	国際文化コミュニケーション専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 英語をはじめとする外国語の基本的な運用能力を有し、かつ一層の向上を目指す意欲のある者。 ⑵ 多言語多文化に対する基礎的な専門知識を有し、かつ一層の探究心を有する者。 ⑶ 国際社会の中で活躍するための積極的で柔軟な適応能力を有する者。 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴ 読解力、会話力、表現力、思考力などにおいて、高度な外国語による高度な運用能力を有する者。 ⑵ 多言語多文化に対する専門的知識と理解力を有する者。 ⑶ 国際社会の中で活躍しうる自律的な研究能力と実践力を有する者。

研究科	専攻別　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
社会学	**社会学専攻** 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　現代社会が直面している諸問題に関する知識のある者。 ⑵　客観的かつ論理的にものごとを考え、自ら研究テーマを設定し研究を遂行していく能力のある者。 ⑶　関連分野における専門的知識を身につけ、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探求しようとする意欲のある者。 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　社会学・文化人類学・社会情報学およびその関連分野における研究成果と実証的研究方法についての知識のある者。 ⑵　国際的な視点に立って独創的な研究を遂行する能力のある者。 ⑶　関連分野における高度な専門的知識と研究遂行能力を身につけ、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探求し、社会に貢献しようとする意欲のある者。
	社会心理学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　社会心理学が、個人と社会に関するどのような現象を研究対象としているのかについての知識のある者。 ⑵　直観や常識だけに頼らずに、客観的かつ論理的にものごとを考えることのできる能力のある者。 ⑶　社会心理学のさまざまな研究成果を学び、それに基づいて自らの研究テーマを深く探究しようとする意欲のある者。 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　社会心理学のさまざまな研究成果や、さまざまな実証的研究方法についての知識のある者。 ⑵　国際的な視野に立って、自らの研究テーマを設定し、実証的研究を進め、成果を公表できる能力のある者。 ⑶　社会心理学に関する高度な専門知識と研究遂行力を身につけ、研究や教育を通して社会に貢献しようとする意欲のある者。
法学	**私法学専攻** 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　法学の各専門分野についての学問的基礎のある者 ⑵　柔軟な発想力、法的問題点の発見力、効率的情報処理能力、合理的解決力を有する者 ⑶　私法学研究に興味をもって取り組む意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　博士後期課程において、研究活動を行うのに必要な法学研究専門分野における豊かな学識を備えた者 ⑵　論文作成能力のための高度な能力のある者 ⑶　私法学分野の研究者として自立して持続的に研究活動に従事することを目指す意欲のある者
	公法学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　法学の各専門分野についての学問的基礎のある者 ⑵　柔軟な発想力、法的問題点の発見力、効率的情報処理能力、合理的解決力を有する者 ⑶　公法学研究に興味をもって取り組む意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　博士後期課程において、研究活動を行うのに必要な法学研究専門分野における豊かな学識を備えた者 ⑵　論文作成能力のための高度な能力のある者 ⑶　公法学分野の研究者として自立して持続的に研究活動に従事することを目指す意欲のある者

研究科	専攻別　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
経営学	**経営学・マーケティング専攻** 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　経営学及びマーケティングの基礎知識並びに調査・研究に必要な能力を有する者 ⑵　専門知識を駆使して問題解決に取り組む意欲があり、さらに自己研鑽を怠らず他人の意見を吸収する柔軟性を持った者 ⑶　物事への探求心が旺盛で、グローバルかつ地域コミュニティにおいても貢献する意思のある者 ⑷　将来、国内外の学界や企業等の経営体で活躍する研究者、教育者、高度専門職業人を目指す者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　経営学及びマーケティングの高度な専門知識並びに調査・研究に必要な能力を有する者 ⑵　専門知識を駆使してグローバル化、サービス経済化など、社会における問題解決に取り組む意欲があり、さらに自己研鑽を怠らず他人の意見を吸収する柔軟性を持った者 ⑶　グローバルな視点に立って、経営学及びマーケティングについて、ディシプリンに基づく高度かつ独創的な研究をさらに進めようとする意思を有している者 ⑷　将来、国内外の教育研究機関、企業、各種組織などにおいて指導的な研究者を目指す者
	ビジネス・会計ファイナンス専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　「企業家・経営幹部養成コース」では、現場の第一線で活躍するビジネスマン、経営コンサルタント、起業家、経営管理者等を目指す意欲及びそのための経営学の基礎知識、論理的思考力を有する者 ⑵　「会計ファイナンス専門家養成コース」では、公認会計士、税理士、CFO、証券アナリスト等の国家資格取得を目指す意欲及びそのための会計ファイナンスの基礎知識、論理的思考力を有する者や、会計・財務、銀行・証券・保険業務等高度職業会計人としての能力向上を目指す意欲及びそのための会計ファイナンスの基礎知識、論理的思考力を有する者 ⑶　「中小企業診断士登録養成コース」では、日本社会を支える中小企業を支援し、発展させる強い志を持ち、コンサルタントを目指すための経営学の基礎知識、及び対話により課題を把握し、その解決方法を伝えるためのコミュニケーション能力を有する者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　自立した研究者として、創造性豊かでかつ高度な研究能力を有し、各種研究機関や企業、各種組織体においても主任研究員等として専門領域を指導できる卓越した高度専門家職業人としての潜在的および顕在的能力を有する者 ⑵　社会にとって有用な研究を公正に行うことのできる価値観と、研究を通じて社会の発展に寄与する使命感を有する者
経済学	**経済学専攻** 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、口述試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　経済学に関する基礎的な知識のある者 ⑵　論理的に考え、発表・論議する能力のある者 ⑶　社会・経済の諸問題に高い関心を持ち、問題発見・解決するための意欲がある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　経済学に関する総合的かつ高度な知識のある者 ⑵　専門分野における優れた問題発見、分析などの研究能力及び論文作成能力のある者 ⑶　将来研究者として自立し、大学および他の研究機関等において研究活動を継続する意欲のある者
	公民連携専攻 【修士課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、事前課題、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　一般入試においては、専門分野にかかわらず地域経済社会に対する一定の見解を有している（事前課題に関する口述試験で判断する）とともに、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する）。 ⑵　社会人入試及び地方創生入試においては、公民連携に関連する分野での経験があるかもしくは今後担当する可能性があり、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する）。 ⑶　海外からの留学生に関しては、自国において、公民連携に関連する分野での経験があるかもしくは今後担当する可能性があり公民連携に関する一定の見解を有している（事前課題に関する口述試験で判断する）又は、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する）。 ⑷　公民連携に関する豊富な経験や知識を有し、プロフェッショナルとして活動するための具体的な研究計画を有している者（専攻所定の研究計画書及び面接で判断する）。

研究科	専攻別　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
国際学	**グローバル・イノベーション学専攻** 【修士課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示したものを受け入れる。 ⑴　イノベーションを通じてグローバル社会に貢献しようとする起業家精神をもち、そのための実践的知識、英語を駆使した専門的能力、およびリーダーシップの獲得を目指す者。 ⑵　将来、国内外の学界や企業及びNGO・NPOなどの組織で活躍する、研究者、教育者、高度専門職業人を目指す者。 ⑶　現代社会におけるグローバルな課題に関する理解と課題解決のための基礎的な調査研究能力を有し、今後積極的に自己研鑽を怠らず積極的に取り組もうとする者。 ⑷　積極的に国際的に発信するために必要な学問的基盤を有し、また、その知識を実践活動に転換するための分析能力・遂行能力を有する者。 ⑸　日本人学生と外国人留学生が共存する環境のなかで、同じ目的を持って学ぶことができる、多様性への寛容な精神、及び協調的なコミュニケーション能力を有する者。
	国際地域学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　国内外の地域の現状と課題に対する知識のある者 ⑵　地域の現状と課題を理解し分析できる能力のある者 ⑶　国内外の地域の課題の理解と解決、およびそのための調査研究に自らが積極的に取り組む意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　国内外の地域の現状と課題に対する幅広い知識があり、かつ専門とする分野に関する知識や分析手法を身につけている者 ⑵　地域の現状と課題を理解し分析し、それを成果としてまとめる能力のある者 ⑶　国内外の地域の現状と課題に対して、大局観を持ちつつ、その解決のための調査研究および実践に研究者として自立して取り組む意欲のある者
国際観光学	**国際観光学専攻** 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　国内外の観光学分野における課題に取り組み、改善・解決策を提案するための基礎知識を有する者 ⑵　観光の現場で求められるニーズに対応するため、英語をはじめとした語学の知識を有する者 ⑶　観光分野とくにホスピタリティ産業を牽引する経営幹部を目指し、グローバル化による多文化共生社会において文化や経営の哲学を含めて観光実務に携わる能力のある者 ⑷　国内外における地域づくりや国際観光の発展にかかわる諸問題の解決及び調査研究に自らが意欲的に取り組む意思のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 ⑴　国内外の観光産業・観光政策・観光開発のいずれかにおける研究あるいは実践した経験や知識のある者 ⑵　英語にはじまる国際語を駆使してグローバル観光分野の研究に励み、観光学分野へ成果を還元できる能力のある者 ⑶　ICTを活用し、複雑化していく社会の動向に常に前向きで研究できる能力のある者 ⑷　国内外における地域づくりや国際観光の発展にかかわる諸問題の解決及び調査研究に対し、高い志を抱きつつ、自らが意欲的に取り組む意思のある者 ⑸　持続的な社会の発展のためにこの新しい実証的な学問を追究し、修了後も引き続き研究を発展継続させて行く意欲のある者

出願資格

注意　本大学院では学則により二重学籍を禁止しています。他の大学又は大学院等（本学学部・大学院や日本語学校含む）に正規生として在籍されている場合、大学院入学までに卒業か修了、又は退学（出願資格に係る学位をすでに有する場合）する必要があります。

１．博士前期・修士課程

博士前期課程または修士課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者です。

(1)　大学を卒業した者および卒業見込の者
(2)　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者および修了見込の者
(3)　外国の大学において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者
(4)　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および修了見込の者
(5)　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
(6)　大学に 3 年以上在学した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと認めた者
(7)　本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達した者（※）

※3 年制大学（専科大学）は学士に相当する学位が授与されないため、研究分野に関連する経歴（職歴、研究歴または学修歴）がない者は、個別の入学資格審査による事前審査の出願を認めません。

２．博士後期課程

博士後期課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者です。

(1)　修士の学位や専門職学位を有する者および授与される見込の者
(2)　外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および入学時までに授与される見込の者
(3)　我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および入学時までに授与される見込の者
(4)　文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
(5)　本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 24 歳に達した者

３．外国籍の方の出願資格

・　在留資格が「出入国管理及び難民認定法」による「短期滞在」の者は、4 月入学の場合は 2・3 月入試を、秋入学の場合は 8 月入試を受験できません。
・　経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻中小企業診断士登録養成コースでは、外国籍の方が留学ビザの申請をすることはできません。

４．事前審査

博士前期・修士課程または博士後期課程に出願の意思があり、以下に示すそれぞれの資格を有さないが、研究分野に関連する経歴（職歴、研究歴または学修歴）を持つ者は、p.11【出願資格の事前審査】をよく読み、期日までに手続を行ってください。

【出願資格】
博士前期・修士課程の場合・・・出願資格（1）～（6）
博士後期課程の場合・・・・・・出願資格（1）～（4）

※上記の出願資格を有している場合は、事前審査は不要です。そのままp.12【出願手続】を参照の上、出願ください。
※3 年制大学（専科大学）は学士に相当する学位が授与されないため、研究分野に関連する経歴（職歴、研究歴または学修歴）がない者は、個別の入学資格審査による事前審査の出願を認めません。

出願資格の事前審査

注意　博士前期・修士課程受験者は学士学位、博士後期課程受験者は修士学位を持っている方は事前審査不要です。学士学位のない方で、3年制大学等を卒業後、研究分野に関連する経歴が本学入学時点で１年以上なければ、事前審査の出願は出来ません。

１．事前審査とは

前頁「出願資格」のうち、下記の者が東洋大学「大学院入学試験」の出願をするにあたり、事前に審査を受けなければならない制度です。この事前審査に合格した場合に限り、「大学院入学試験」の出願が認められます。

博士前期・修士課程の場合・・・出願資格（1）～（6）
博士後期課程の場合・・・・・・出願資格（1）～（4）
に **該当しない** が、研究分野に関連する経歴（職歴、研究歴または学修歴）を有する者

２．事前審査書類の提出期限・提出方法

【提出期限】

受験希望試験の実施月	提出期限
2023年　8月	2023年　5月　26日（金）
2023年　11月	2023年　9月　15日（金）
2024年　2月	2023年　11月　10日（金）
2024年　3月	2024年　1月　26日（金）

【提出方法】

- 下記の事前審査提出書類一式を、「書留・速達」で郵送してください（消印有効）。
- 封筒の表書きに「事前審査書類在中」と朱書きしてください。
- 郵送以外の出願は受け付けません。
- 必ずすべての事前審査提出書類を郵送してください。すべての書類が揃っていない場合は審査の対象となりません。

３．事前審査の提出書類

① **【本学所定用紙】「出願資格事前審査申請書」**
② **【本学所定用紙】「履歴調書」**
③ **「最終学歴の卒業証明書（コピー可）」**
④ **「最終学歴の成績証明書（コピー可）」**　（編転入している場合は、編転入前の成績証明書も必要）
⑤ **「取得学位が明記されている証明書（コピー可）」**（学位をもっている場合のみ）
⑥ **「中小企業診断士第１次試験合格証書（コピー）」**
（ビジネス・会計ファイナンス専攻中小企業診断士登録養成コース志願者のみ）

※①～②は本学所定書式です。

・本学Webサイト（https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/hakusan/）からプリントアウトをして、ご記入のうえ提出してください。提出書類作成には、時間がかかりますので、お早めにご確認ください。

※③～⑤は、日本語または英語で作成された証明書を提出してください。
・日本語または英語以外の言語で作成された証明書を提出する場合は、証明書に下記①・②の書類（原本）を添付してください。
①日本語または英語による翻訳
②①の翻訳証明（大使館等公的機関による証明。または日本語学校・翻訳会社による学校・会社の公印が押された証明）

※ 事前審査で提出された書類、証明書は返却いたしませんので、ご注意ください。

４．問い合わせ先・事前審査書類の郵送先

文学・社会学・法学・経営学・経済学・国際学・国際観光学研究科
→東洋大学　大学院教務課　〒112-8606　東京都文京区白山5-28-20　TEL. 03-3945-7251
〈受付時間　(月)～(金)10：00～13：00・14：00～16：00　(土)10：00～12：30〉

【参考】事前審査　状況一覧

〔2022年度〕

事前審査申請者	事前審査合格者	入学試験合格者
18	12	2

出願手続

出願にあたっては、**「インターネット（Web）入力」、「出願書類の郵送」、「入学検定料の振込」**のすべての手続が必要となります。
「インターネット（Web）入力」を行うには、本学 Web サイトより、【マイページ】利用者登録が必要です。インターネット環境を使用することが前提となります。
「出願書類の郵送」、「入学検定料の振込（コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード）」は原則日本国内からのみ可能です。海外在住の場合、日本国内に代理人を立てて、手続を代行してもらってください。

１．出願書類

希望する専攻・試験区分によって出願書類が異なりますので、《pp.47～52》の出願書類一覧で確認してください。
本学所定用紙に関しては本学 Web サイト（https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/）の「白山キャンパス入試情報」ページに掲載されている書式を使用してください。

(1) 志願票①・②・③　※③は外国籍の方のみ

・「マイページ」にログインし、出願登録後、志願票①・②・③を印刷してください。入学検定料は、p.13 の「入学検定料」をよく読んで支払ってください。
・氏名等の表記は JIS の第 2 水準までとします。（例：髙→高、﨑→崎など）

【写真について】
- 志願票①・②の所定の場所に、それぞれ貼付してください。
- 出願時点から 3 カ月以内に撮影したもので、たて 4cm×よこ 3cm の上半身（肩から上）・脱帽・正面・背景の無い光沢カラー写真（服装自由）。（加工されたもの、絹目仕上げ（つや消し）、白黒写真、スナップ写真は不可）。
- 受験時に眼鏡等を着用する者は、眼鏡等を着用して撮影したもの。
- 裏面に、志願票に印字された整理番号、氏名を記入してください。（裏面がシールのものは記入しなくても可）
- 入学後、学生証用として大学院修了まで使用します。

(2) 履歴調書（本学所定用紙）

(3) 調査書（本学所定用紙）

(4) 研究計画書（本学所定用紙）

特に字数等の指定がない場合には、2 枚以内で作成してください。
専攻によっては別途書式が定められていますので、《pp.47～52》の出願書類一覧で確認してください。

(5) 事前課題（本学所定用紙）

国際文化コミュニケーション専攻および公民連携専攻（一般入試・外国人留学生入試）の志願者のみ提出してください。

(6) 各種証明書（いずれも最新の内容が記載された紙の原本）

＜日本国内の大学・大学院を卒業（見込）または修了（見込）の場合＞

【博士前期課程・修士課程志願者】
- 最終出身大学学部の成績証明書と卒業（見込）証明書
- 大学院を修了（見込）している場合は、大学院の成績証明書と修了（見込）証明書も提出してください。

【博士後期課程志願者】
- 最終出身大学院の成績証明書と修了（見込）証明書

・改姓している方は、戸籍抄本等改姓が確認できる証明書を提出してください。
・東洋大学の学部（通信教育課程・短期大学を除く）から大学院へ進学する場合、ならびに東洋大学の大学院博士前期（修士）課程から博士後期課程に進学する場合は入学金（入学申込金）が免除となります。その証明として、東洋大学が最終学歴でない場合も必ず東洋大学の卒業（見込）・修了（見込）証明書を提出してください。

＜外国の大学・大学院を卒業（見込）または修了（見込）の場合＞

【博士前期課程・修士課程志願者】
- 最終出身大学学部の成績証明書と卒業（見込）証明書、学士学位証明書
- 大学院を修了（見込）している場合は、大学院の成績証明書と修了（見込）証明書、修士学位証明書も提出してください。

【博士後期課程志願者】
- 最終出身大学院の成績証明書と修了（見込）証明書、修士学位証明書

※卒業・修了見込の場合、学位証明書は不要です。

・各証明書は、日本語または英語で作成された原本を提出してください。

それ以外の言語で作成された証明書を提出する場合は、証明書（原本）に下記①・②の書類（原本）を添付してください。
① 日本語または英語による翻訳
②①の翻訳証明（大使館等公的機関による証明。または日本語学校・翻訳会社による学校・会社の公印が押された証明）。

・中国の大学・大学院を卒業または修了した方は、以下の書類での提出も可能です。

［成績証明書］中国高等教育学生信息網（CHSI）が発行する英語で作成された Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript の原本※。

［卒業証明書／修了証明書］中国高等教育学生信息網（CHSI）が発行する英語で作成された Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate の原本※。

※オンラインシステムから入手した証明書を志願者本人が印刷したものは認めません。必ず、中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する原本を提出してください。また、CHSI では学位証明書の紙発行を行っていないため、出身大学で原本を手配してください。

・編転入をしている場合は、最終出身大学の成績証明書・卒業（見込）証明書だけでなく、編転入前の大学の成績証明書・在籍期間がわかる書類（成績証明書に在籍期間が記載されていれば不要）も併せて提出してください。
・各証明書の原本が提出できない場合は、その国の機関（大使館等※ただし、中国については中国国内の公証処）にて各証明書のコピーおよび翻訳が原本と相違ない旨の証明を受け提出してください。

(7) **【外国籍の方のみ】在留カードの両面コピーまたは住民票**
・試験日まで有効な在留資格・在留期間が記載されているもの。
・在留カードの両面コピーは、両面の情報全てが見切れることなくコピーされていることを確認すること。
・住民票は、居住している市区町村の各役所で試験日から起算し3ヵ月以内に発行されたもの（原本）。マイナンバーは不要。
※在留カードを更新中の場合は、更新中であることを証明するものとして、「出入国在留管理庁の申請番号・受付年月日・申請者名」を確認できる次の書類の提出が必要です。「出入国在留管理庁発行の申請受付票（コピー）」または「日本語学校が代理申請したことを示す書類（コピー可）」

(8) **修士論文・卒業論文・論文要旨等**
専攻によって提出物が異なります。《pp.47～52》の出願書類一覧で確認してください。返却はいたしません。

(9) **出願書類チェックリスト**
(1) ～ (8) の出願書類がすべて揃っているかを確認し、郵送時には、出願書類の一番上に重ねて封筒に入れてください。

【受験上の配慮の希望について】
病気・負傷や障がい等のために、入学試験の受験に際して配慮を希望する場合（日常的に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験するなどを含む）は、試験会場設定や他の配慮内容との関係から、出願手続前に大学院教務課に必ずご相談ください。

2．入学検定料

入学検定料……35,000円　※振込期間は出願期間を確認し、その期間内に振り込んでください。

(1) 入学検定料はインターネット出願登録後、最寄りのコンビニエンスストア（セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・デイリーヤマザキ・セイコーマート）、ペイジー（「Pay-easy」マークのある全国のゆうちょ銀行や各銀行等のATM）、クレジットカードで出願期間内に納入してください。
(2) 入学検定料の納入の際には、入学検定料の他に決済手数料等が別途かかります。
(3) 金融機関の窓口での取り扱いは行いません。
(4) 家族や知人が代理で手続をする場合も、必ず志願者本人の情報を入力してください。
(5) コンビニエンスストアでの支払いは、土日・祝日問わず、営業時間内であればいつでも可能です。ただし、出願期間最終日のインターネット出願サイトでの登録は23：00までとなりますので、ご注意ください。
(6) 出願期間内に入学検定料の納入が完了しても、出願書類の消印が出願期間最終日を過ぎている場合は、受験できません。
(7) 入学検定料収納証明書（領収書等）は必ず保管してください。収納証明書、領収書等のコピーを送付する必要はありません。
(8) 一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還しません。ただし、返還対象の①または②のいずれかに該当する場合は返還の対象となります。返還を希望する場合は、申請期間中に手続を行ってください。
返還対象　①入学検定料を納入したが、志願票を郵送しなかった。
②入学検定料を納入して志願票を郵送したが、他の出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった。
詳しくは、本学Webサイト（https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/return/）をご確認ください。

3．出願方法

- 出願手続の流れは、次のURL（https://www.guide.52school.com/guidance/net-toyo-gs/）をクリックし、「東洋大学大学院2023/2024年度インターネット出願ガイダンス」のページをよくお読みください。
- 出願書類一式を本学宛に「書留・速達」で郵送してください（消印有効）。
- 郵送以外の出願は受け付けません。
- 出願書類一式を折らずに封入可能な封筒（角2号）を用意し、所定の封筒貼付用宛名シートを表面にしっかりとのり付けして、郵送してください。※宛名シートが貼れないため、レターパックは使用しないでください。
- 必要書類がすべて揃っているかを「出願書類チェックリスト」で必ず確認してください。
- 必ず入学検定料を納入した後、郵送してください。出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても、出願書類の消印が出願期間最終日を過ぎている場合は、受験できません。

4．出願の際の注意事項

- 出願書類および入学検定料は、返還しません。
- 出願後の研究科・専攻の変更（コースが明示されている専攻のコース変更も含む）および受験科目（選択）等の変更は一切認めません。
- すべての出願書類が揃わないと受験できません。
- 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがあります。

5．受験票の送付

- 受験票は全員の出願書類の審査が終了してから、はがきにて発送いたします。
- 受験票の宛先は日本国内のみとなります。
- 試験日の2日前までに受験票が届かない場合は、下記までお問い合わせください。

東洋大学　大学院教務課
TEL. 03-3945-7251　〈受付時間　(月)～(金)10：00～13：00・14：00～16：00　(土)10：00～12：30〉

受験上の注意事項

(1) 試験会場は、白山キャンパス（東京都文京区白山 5-28-20）となります（大手町サテライトでは実施しません）。

(2) 試験教室等会場案内は、構内の立看板や掲示により当日指示となりますので、早めに試験会場へ到着し、確認してください。
(3) 受験票を必ず持参してください。試験開始前に受験票の提示が必要となります。受験生の付添者は試験教室内に入室できません。
(4) 受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、早めに試験会場に行き、仮受験票の交付を受けてください。仮受験票の交付場所は試験当日、試験教室付近の誘導員に確認してください。
(5) 試験教室では、机上の座席票の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください（自分の受験番号と異なる席に着席した場合、受験が無効となる場合がありますので、必ず受験番号を確認してください）。

(6) 試験開始 30 分前には試験教室で着席してください。受験上の注意事項等について説明いたします。

例：筆記試験の時間が「10：00～」の場合は、試験教室への集合時間は 9：30 となります。
(7) 試験時間は専攻・試験区分によって異なります。各自 p.19 以降の試験時間割で確認をしてください。

(8) 試験開始時刻に遅刻した場合、試験教室への到着が試験開始から 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

(9) 試験会場には駐車場がありませんので、自動車・バイク等での試験会場への乗り入れはできません。
(10) 試験教室では、すべて試験監督者の指示に従ってください。また試験会場・試験教室において、他の受験生に迷惑となるような行為は禁止します。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。
(11) 外国語の試験科目で、辞書の使用を認められた科目については、各自用意してください。
ただし、使用できるのは書籍形式の辞書のみで、「電子手帳」等その他の辞書の使用はできません。
また専門用語辞典は使用できません。
(12) 志願者数により、面接開始時間が変更となる場合があります。その際は受験票に記載してお知らせします。
(13) 試験当日の昼食等は、必要に応じて各自でご用意ください。
(14) 試験教室に時計はありません。時計（時計機能だけのもの）を持参してください。携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、IC レコーダー等の電子機器類を時計代わりに使用することはできません。なお、時計の貸し出しは行っていません。
(15) 筆記用具の貸し出しは行っておりません。筆記試験を受験する場合は、必ず自分でご用意ください。
(16) 試験会場および面接控室での携帯電話等の使用を禁止します。電源を切ってから、建物内に入ってください。

試験当日、交通機関に乱れが生じている場合

(1) 試験当日、台風の接近・雪などの天候不良や、事故・地震等により交通機関の乱れが生じている場合でも、まず試験会場に向かってください。本学では追試験・再試験は行いません。
(2) 各試験会場への主要公共交通機関（バス・車を除く）の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合に限り、試験開始時刻を遅らせることがあります。
ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
詳細については措置内容が決定後、本学Webサイト（https://www.toyo.ac.jp/academics/folder/gstop/）に掲載しますので、ご確認ください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ等）の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。また、感染症に罹患し治癒していない受験生が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。
なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。詳細については措置内容が決定後、本学 Web サイト（https://www.toyo.ac.jp/academics/folder/gstop/）に掲載しますので、ご確認ください。

受験生の皆さんへお願い

(1) 入学試験会場での感染症（インフルエンザ等）の感染を防ぐため、必要に応じて各自マスクを用意してください。
(2) 咳・くしゃみがでる方は、マスクを着用する等、咳エチケットを守り周囲の方への感染防止にご配慮ください。
(3) 新型コロナウイルスの対応については、本学 Web サイトおよびマイページでお知らせしております。

試験時間中の注意事項

１．受験票等所持品の扱い

⑴　「受験票」は必ず机の上に置いてください。

⑵　「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、「黒鉛筆」、「シャープペンシル」、「プラスチック製の消しゴム」、「鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く）」、「時計（時計機能だけのもの）」、「眼鏡」、「使用が許可されている辞書・六法」です。※ボールペンは使用できません。
「飲食物」はかばん等の中にしまってください。

⑶　「下敷き」、「そろばん」、「電卓」、「グラフ用紙」、「定規」などの用具は使用できません。

⑷　アラーム機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。

⑸　PC、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、IC レコーダー等の電子機器類は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていると不正行為とみなされることがあります。アラームは、設定を解除しないと電源を切っていても鳴ることがありますので、注意してください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を教室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。

⑹　「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。

⑺　試験教室内で、「英文字」、「地図」、「格言」等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

⑻　「ハンカチ」、「ティッシュペーパー」、「座布団」、「ひざ掛け」、「目薬」の使用を希望する者は、試験監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。

２．解答上の注意

指定された科目等以外での受験は認めません。また、出願した入試方式において、必要なすべての科目・面接等を受験していないと、失格となります。

３．試験時間中の退室

試験時間中は試験終了までは退室を認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した分の試験時間の延長は認められません。

４．試験時間中の試験監督者の指示

試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とみなし失格となり、退室させることがあります。なお、その場合における入学検定料返還の求めには応じません。

５．不正行為

次の行為は不正行為となることがあります。不正行為となった場合は失格となり、それ以降の受験はできません。
また、既に受験した科目の受験も無効となります。なお、その場合における入学検定料返還の求めには応じません。

⑴　カンニング（カンニングペーパー、参考書、使用が許可されていない辞書、他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。

⑵　「下敷き」、「そろばん」、「電卓」、「グラフ用紙」、「定規」など、使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。

⑶　試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。

⑷　試験終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

⑸　試験時間中に、出題内容、あるいは解答を教えるなど他の受験生が有利となるような行為をすること。

⑹　試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等を身に付けていること。

⑺　試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を鳴らすこと。

⑻　試験会場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。

⑼　試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。

⑽　その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

６．その他の注意事項

⑴　試験時間中に監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう指示をすることがあります。

⑵　試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音、監督業務上必要な打合せ、航空機、自動車、風雨、空調の音、周囲の受験者の咳、くしゃみ、鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

⑶　机、椅子、空調等の試験教室による相違は一切考慮しません。

合格発表・入学手続

1．合格発表

⑴「マイページ」内の「合否結果」で、合格発表日の 11:00 から合否確認ができます。
⑵「合格通知書」は、「マイページ」よりダウンロードできます。必要に応じ、印刷してください。
※「合格通知書」は郵送しません。
⑶ 合否についての問い合わせには、一切応じません。掲示発表は行いません。

2．入学手続

合格者は、「マイページ」内の「入学手続のしおり」（PDF）に従い、指定した入学手続締切日までに下記の手続を行ってください。

① 納付金を納入してください。
② オンライン入学手続を行ってください。

手続締切日までに上記①②の手続が完了しない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。詳しくは「入学手続のしおり」でご確認ください。

（1）納付金の内訳については、p.17 に記載していますので、ご確認ください。
（2）納入した入学金（入学申込金）は、「東洋大学大学院の合格した研究科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
（3）東洋大学教育ローンをご希望の方は、p.53 をご覧ください。

入学手続に関するページはこちら
https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/tetuduki/

在留資格

本学に入学を許可された外国人学生は、「留学」の在留資格を申請することができます（経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻中小企業診断士登録養成コース除く）。ただし、大学が指定した期日までに、有効な在留資格を取得していない場合には、原則として入学できません。なお、「短期滞在」の在留資格で本学に入学することはできません。詳細については、出願前に必ず本学 Web サイトでご確認ください。
https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/zairyu_shikaku/

専門実践教育訓練給付の事前手続について

本学では次の専攻（コース）が、専門実践教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座に指定されています。

・経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻中小企業診断士登録養成コース（博士前期課程）
・経済学研究科公民連携専攻（修士課程/標準コースのみ）※再指定の申請の結果、2023 年 10 月以降も引き続き指定されました。

「専門実践教育訓練給付金」については、入学前に講座受講開始日の 1 ヶ月前（秋入学生…入学する年の 8 月末、4 月入学生…入学する年の 2 月末日）までにハローワークで支給申請手続を行う必要があります。
経済学研究科公民連携専攻（修士課程/標準コース）に出願される方で、申請を希望する場合は、Web サイトで再指定の結果を確認の上、申請手続を行ってください。

詳細は厚生労働省 Web サイトの以下 URL を参照してください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

支給金額等の確認については本学 Web サイトの以下 URL を参照してください。
https://sites.google.com/toyo.jp/daigakuinjoho/senmonzissenkyoikukunren

納付金

以下の金額は、納入予定額のため、変更となる場合があります。

(2024 年度予定)　　(単位：円)

研究科		課程	出身大学	学費				計
				入学金 (入学申込金)	授業料	一般施設 設備資金	実験 実習料	
文学研究科 社会学研究科 法学研究科 経営学研究科 (ビジネス・会計ファイナンス専攻 中小企業診断士登録養成コース除く) 経済学研究科 (経済学専攻) 国際学研究科 国際観光学研究科		博士前期 (修士)	本学※1	－	450,000	90,000	－	540,000
			他大学	270,000	450,000	90,000	－	810,000
		博士後期	本学※1	－	450,000	70,000	－	520,000
			他大学	270,000	450,000	70,000	－	790,000
経済学研究科 公民連携専攻	標準コース	修士	本学※1	－	600,000	90,000 ※2	－	690,000
			他大学	270,000	600,000	90,000 ※2	－	960,000
	プロフェッショナル コース		本学※1	－	990,000	90,000	－	1,080,000
			他大学	270,000	990,000	90,000	－	1,350,000
経営学研究科 ビジネス・会計ファイナンス専攻 中小企業診断士登録養成コース		博士前期	本学※1	－	900,000	90,000	160,000	1,150,000
			他大学	270,000	900,000	90,000	160,000	1,420,000

※1　本学の学部（通信教育課程・短期大学を除く）から大学院に進学する場合、入学金（入学申込金）は免除となります。
　　本学の大学院博士前期（修士）課程から博士後期課程に進学する場合、入学金（入学申込金）は免除となります。

※2　経済学研究科公民連携専攻は、2024 年 4 月に一般施設設備資金の改定を実施します。2023 年秋入学の学生は、2023 年度秋学期分のみ 2023 年度納付金の金額が適用されます。一般施設設備資金の金額（2023 年度秋学期分として 150,000 円）のみ 2024 年度と異なります。詳細については本学 Web サイトをご確認ください。
　　https://www.toyo.ac.jp/campuslife/student_support/jyugyou/tuition/

1. 入学金（入学申込金）の納入は初年度のみです。
2. 納付金は、全額納入（全納）と、授業料・一般施設設備資金・実験実習料を年 2 回に分けて納入する分割納入（分納）を選択することができます。
3. 納入した入学金（入学申込金）は、「東洋大学大学院の合格した研究科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
4. 長期履修制度の納付金等の詳細は本学 Web サイトにてご確認ください。

入学手続後の入学辞退と納付金の返還について

本学への入学手続を完了した後に、やむを得ない理由により入学辞退を希望し、期日までに本学が定める手続により届出をした者には、入学辞退を認め、入学金（入学申込金）を除く納付金を返還します。

詳細については、「入学手続のしおり」にてご確認ください。

2023 年秋入学生

手続期限：2023 年 9 月 15 日（金）
返還予定日：2023 年 10 月下旬頃

2024 年 4 月入学生

手続期限：2024 年 3 月 31 日（日）
返還予定日：2024 年 4 月下旬頃

問い合わせ先：経理部財務課　EMAIL . mlgakuhi@toyo.jp

試験区分早見表

枠内に、各専攻の試験区分の記載ページを示します。
傍線（—）が引かれ網掛されている場合は、その試験区分での入試は行っておりません。
なお、社会人や外国人留学生の方も出願資格を満たしていれば一般入試を受験できます。

<table>
<tr><th rowspan="2">研究科</th><th rowspan="2">専攻</th><th rowspan="2">コース　※1</th><th colspan="5">博士前期・修士課程</th><th colspan="5">博士後期課程</th></tr>
<tr><th>一般</th><th>社会人</th><th>外国人留学生</th><th>JICA/地方創生※2</th><th>学内推薦</th><th>一般</th><th>社会人</th><th>外国人留学生</th><th>JICA※2</th><th>学内推薦</th></tr>
<tr><td rowspan="10">文学</td><td colspan="2">哲学</td><td colspan="2">p.19</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="10">※3</td><td>p.19</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">インド哲学仏教学</td><td colspan="3">p.20</td><td>—</td><td>p.20</td><td>—</td><td>p.20</td><td>—</td><td rowspan="3">※3</td></tr>
<tr><td colspan="2">日本文学文化</td><td colspan="3">p.21</td><td>—</td><td colspan="3">p.21</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">中国哲学</td><td colspan="3">p.22</td><td>—</td><td colspan="2">p.22</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">英文学</td><td colspan="2">p.23</td><td>—</td><td>—</td><td>p.23</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="6">※3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">史学</td><td>日本史学</td><td colspan="2" rowspan="3">p.24</td><td>—</td><td>—</td><td colspan="2" rowspan="3">p.24</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>東洋史学</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>西洋史学</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育学</td><td colspan="2">p.25</td><td>—</td><td>—</td><td colspan="2">p.25</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">国際文化コミュニケーション</td><td colspan="3">p.26</td><td>—</td><td colspan="3">p.27</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="5">社会学</td><td rowspan="4">社会学 ※4</td><td>現代社会学</td><td colspan="3" rowspan="4">p.28</td><td>—</td><td rowspan="5">※3</td><td colspan="3" rowspan="4">p.29</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>社会文化共生学</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>メディアコミュニケーション学</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>社会実践学</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会心理学</td><td colspan="3">p.30</td><td>—</td><td colspan="3">p.30</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">法学</td><td colspan="2">私法学</td><td colspan="3" rowspan="2">p.31</td><td>—</td><td rowspan="2">※3</td><td colspan="3" rowspan="2">p.32</td><td>—</td><td rowspan="2">※3</td></tr>
<tr><td colspan="2">公法学</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="4">経営学</td><td colspan="2">経営学・マーケティング</td><td colspan="3">p.33</td><td>—</td><td rowspan="4">※3</td><td colspan="3">p.34</td><td>—</td><td rowspan="3">※3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ビジネス・会計ファイナンス ※4</td><td>企業家・経営幹部養成</td><td colspan="2">p.35</td><td>—</td><td>—</td><td colspan="2" rowspan="2">p.38</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>会計ファイナンス専門家養成</td><td colspan="2">p.36</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>中小企業診断士登録養成</td><td colspan="2">p.37</td><td>—</td><td>—</td><td colspan="4">—</td></tr>
<tr><td rowspan="3">経済学</td><td colspan="2">経済学</td><td colspan="3">p.39</td><td>—</td><td rowspan="2">※3</td><td colspan="3">p.39</td><td>—</td><td>※3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公民連携</td><td>標準</td><td colspan="4">p.40・p.41</td><td colspan="5">—</td></tr>
<tr><td>プロフェッショナル</td><td>—</td><td>p.40</td><td>—</td><td>p.41</td><td>—</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">国際学</td><td colspan="2">グローバル・イノベーション学</td><td colspan="3">p.42</td><td>—</td><td rowspan="2">※3</td><td colspan="5">—</td></tr>
<tr><td colspan="2">国際地域学</td><td colspan="4">p.43・p.44</td><td colspan="4">p.44</td><td>※3</td></tr>
<tr><td>国際観光学</td><td colspan="2">国際観光学</td><td colspan="4">p.45</td><td>※3</td><td colspan="3">p.46</td><td>—</td><td>※3</td></tr>
</table>

※1　出願時にコース選択が必要な場合、またはコースによって試験区分・設問が異なる場合、コースが記載されています（法学研究科の公務員コースは出願時に選択しなくても所属できますが、出願時点で所属を決めている場合は提出書類の「入学後の研究計画書」に希望する旨を書いてください。なお、法学研究科の公務員コースは、博士前期課程であれば私法学・公法学どちらの専攻でも所属可能です）。

※2　JICA ボランティア入試は、国際学研究科国際地域学専攻博士前期課程、博士後期課程および国際観光学研究科国際観光学専攻博士前期課程のみ実施します。
地方創生入試は、経済学研究科公民連携専攻のみ実施します。

※3　学内推薦入試の要項は別にあります。詳細は以下の本学 Web サイトでご確認ください。
https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/hakusan/

※4　社会学研究科社会学専攻博士後期課程と経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程は、コース分けがありません。

◆文学研究科◆

哲学専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

事前選択　日本哲学を研究予定の外国人受験生は日本語を選択すること。

	10：00～11：30		13：00～14：00		15：00～
試験時間割 （８月・２月試験）	事前選択	英語（辞書使用不可） 独語（辞書使用可） 仏語（辞書使用可） 日本語（辞書使用不可） （２科目選択）	必修	哲学概論 と 西洋哲学史	面接

〔社会人入試〕

出願資格	入学時において、４年制大学を卒業後５年を経過した者	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	英語（辞書使用不可）	面接

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

事前選択　日本哲学を研究予定の外国人受験生は日本語を選択すること。

	10：00～11：30		13：00～
試験時間割 （２月試験）	事前選択	英語、独語、仏語、日本語 （自己の研究に必要な２科目を選択・辞書使用不可）	面接 （修士論文に関する口述試問を含みます。なお、修士論文の評価を判定資料の１つとします。）

インド哲学仏教学専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

<table>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（８月・２月試験）</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td colspan="2">13：00～14：00</td><td>15：00～</td></tr>
<tr><td>事前選択</td><td>英語、日本語
（１科目選択・辞書使用可）
漢文、サンスクリット語
（１科目選択・辞書使用可）</td><td>事前選択</td><td>インド哲学概論
仏教学概論
（１科目選択）</td><td>面接</td></tr>
</table>

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">入学時において、４年制大学を卒業後５年を経過した者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（８月・２月試験）</td><td>10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>面接</td></tr>
</table>

〔外国人留学生入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（８月・２月試験）</td><td>10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>面接</td></tr>
</table>

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

<table>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（２月試験）</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td colspan="2">13：00～14：00</td><td>15：00～</td></tr>
<tr><td>事前選択</td><td>英語、日本語
（１科目選択・辞書使用可）
漢文、サンスクリット語
（１科目選択・辞書使用可）</td><td>事前選択</td><td>インド哲学概論
仏教学概論
（１科目選択）</td><td>面接</td></tr>
</table>

〔外国人留学生入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td>外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（２月試験）</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>面接</td></tr>
</table>

日本文学文化専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

	10：00～11：30		13：00～14：00		15：00～
試験時間割 （８月・２月試験）	事前選択	古典文学概論 近現代文学概論 日本語学概論 （１科目選択・辞書使用不可）	事前選択	英語、中国語、日本語 （１科目選択・辞書使用可、 但し、日本語は辞書使用不可）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有する在職経験者	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	日本語日本文学に関する基礎知識・小論文	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	日本語日本文学に関する基礎知識・小論文	面接

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

	13：00～14：00		15：00～
試験時間割 （２月試験）	事前選択	英語、中国語、日本語 （１科目選択・辞書使用可、 但し、日本語は辞書使用不可）	面接 （修士論文に関する口述試問を含みます。なお、修士論文の評価を判定資料の１つとします。）

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有する在職経験者
試験時間割 （２月試験）	13：00～
	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者
試験時間割 （２月試験）	13：00～
	面接

中国哲学専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試①〕

試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30		13：00～14：00		15：00～
	必修	漢文（辞書使用可） 中国語（辞書使用可）	事前選択	「中国哲学史」と 「中国文学史」 のうちから、 いずれか一つを選択	面接

〔一般入試②〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、中国語の学力が、日本中国語検定２級以上又は、HSK4級以上の者（留学生は除く）※証明書（コピー可）を提出すること
試験時間割 （８月・２月試験）	13：00～
	面接

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有する在職経験者	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	小論文	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	小論文	面接

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	中国語（辞書使用可） 中国哲学関係文献読解（辞書使用可）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有する在職経験者	
試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	小論文	面接

英文学専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

	10：00～11：30		13：00～14：00		15：00～
試験時間割 （８月・２月試験）	事前選択	【文学専攻】： 英文学史、米文学史 （１科目選択） または 【語学専攻】：英語学	必修	英語 (辞書使用不可)	面接

〔社会人入試〕

出願資格	入学時において４年制大学またはそれに準ずる機関を卒業後３年を経過した者				
	10：00～11：30		13：00～14：00		15：00～
試験時間割 （８月・２月試験）	事前選択	【文学専攻】： 英文学史、米文学史 （１科目選択） または 【語学専攻】：英語学	必修	英語 (辞書使用不可)	面接

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

	10：00～11：30		13：00～14：00		15：00～
試験時間割 （２月試験）	事前選択	【文学専攻】： 英文学史、米文学史 （１科目選択） または 【語学専攻】：英語学	必修	英語 (辞書使用不可)	面接

史学専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

<table>
<tr><td rowspan="4">試験時間割
（８月・２月試験）</td><td>コース</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td colspan="2">13：00～14：00</td><td>15：00～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日本史学コース
東洋史学コース</td><td>必修</td><td>史料読解
（東洋史学コースのみ辞書※使用可）
※日中辞書、漢和辞書のみ</td><td rowspan="3">必修</td><td rowspan="3">専門領域に関する論述</td><td rowspan="3">面接</td></tr>
<tr><td>事前選択</td><td>英語、独語、仏語、中国語、日本語
（１科目選択・辞書使用可、
但し、日本語は辞書使用不可）</td></tr>
<tr><td>西洋史学コース</td><td>事前選択</td><td>英語、独語、仏語、中国語、日本語
（２科目選択・辞書使用可、
但し、日本語は辞書使用不可）</td></tr>
</table>

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、入学時において４年制大学を卒業後５年を経過した者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（２月試験）</td><td>13：00～14：00</td><td>15：00～</td></tr>
<tr><td>専門領域に関する論述</td><td>面接</td></tr>
</table>

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

外国語科目の選択について　母語を選択することはできません。

<table>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
（２月試験）</td><td>コース</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日本史学コース
東洋史学コース</td><td>事前選択</td><td>英語、独語、仏語、中国語、日本語
（１科目選択・辞書使用可、
但し、日本語は辞書使用不可）</td><td rowspan="2">面接</td></tr>
<tr><td>西洋史学コース</td><td>事前選択</td><td>英語、独語、仏語、中国語、日本語
（２科目選択・辞書使用可、
但し、日本語は辞書使用不可）</td></tr>
</table>

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有し、入学時において博士前期課程・修士課程を修了後５年を経過した者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（２月試験）</td><td colspan="2">15：00～</td></tr>
<tr><td colspan="2">面接</td></tr>
</table>

教育学専攻

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	15：00～
	英語 （辞書使用可）	教育学概論 （教育心理学系の問題含む）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	次のいずれかの条件を満たしている者 (1) 入学時において４年制大学を卒業後３年以上で、在職経験ないしはNPO 法人等における社会的活動の経験を有する者 (2) 入学時において４年制大学を卒業した者で（2024 年３月卒業予定の者を含む）、在職経験ないしはNPO 法人等における社会的活動の経験を通算３年以上有する者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	15：00～
	小論文	教育学概論 （教育心理学系の問題含む）	面接

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	15：00～
	英語 （辞書使用可）	教育学概論 （教育心理学系の問題含む）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	入学時において、在職経験ないしはNPO 法人等における社会的活動の経験を通算３年以上有する者		
試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	15：00～
	英語 （辞書使用可）	論文（テーマ： 広く教育諸問題に関するもの）	面接

国際文化コミュニケーション専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。
※希望指導教員によって選択できる科目が異なります。詳細は本学 Web サイトをご確認ください。

── 博士前期課程 ──

※事前課題および推奨資格は、全入試区分で共通です。

事前課題	別紙の事前課題を出願書類と一緒に提出すること
推奨資格	以下の語学能力証明書（コピー可）を提出できる者は、提出すること。 【英語】 ※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。 ・TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む） ・TOEIC Listening & Reading Test ・IELTS アカデミック・モジュール （ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません） 【ドイツ語】 ・ドイツ語技能検定試験 ・Goethe Zertifikat（GZ） ・TestDaF ・ÖSD 【フランス語】 ・実用フランス語技能検定試験 ・DELF, DALF, TCF 【日本語】 ・日本語能力試験 日本国際教育支援協会、国際交流基金（共催の協力機関）が実施しているもの。

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）		10：00～11：30	13：00～
	事前選択	英語（辞書使用不可）、独語（辞書使用可）、 仏語（辞書使用可）、日本語教育（辞書使用不可）、 日本文化（辞書使用不可） （１科目選択）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、かつ、入学時において４年制大学またはそれに準ずる機関を卒業後２年を経過した者		
試験時間割 （８月・２月試験）		10：00～11：30	13：00～
	事前選択	英語（辞書使用不可）、独語（辞書使用可）、 仏語（辞書使用可）、日本語教育（辞書使用不可）、 日本文化（辞書使用不可） （１科目選択）	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者		
試験時間割 （８月・２月試験）		10：00～11：30	13：00～
	事前選択	英語（辞書使用不可）、独語（辞書使用可）、 仏語（辞書使用可）、日本語教育（辞書使用不可）、 日本文化（辞書使用不可） （１科目選択）	面接

── 博士後期課程 ──

※事前課題および推奨資格は、全入試区分で共通です。

事前課題	別紙の事前課題を出願書類と一緒に提出すること
推奨資格	以下の語学能力証明書（コピー可）を提出できる者は、提出すること。 【英語】 ※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。 ・TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む） ・TOEIC Listening & Reading Test ・IELTS アカデミック・モジュール （ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません） 【ドイツ語】 ・ドイツ語技能検定試験 ・Goethe Zertifikat（GZ） ・TestDaF ・ÖSD 【フランス語】 ・実用フランス語技能検定試験 ・DELF, DALF, TCF 【日本語】 ・日本語能力試験 日本国際教育支援協会、国際交流基金（共催の協力機関）が実施しているもの。

〔一般入試〕

試験時間割 （２月試験）		10：00～11：30	13：00～
	事前選択	英語（辞書使用不可）、独語（辞書使用可）、 仏語（辞書使用可）、日本語教育（辞書使用不可）、 日本文化（辞書使用不可） （１科目選択）	面接

〔社会人入試〕

出願資格		出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有し、通算１年以上在職した経験がある者	
試験時間割 （２月試験）		10：00～11：30	13：00～
	事前選択	英語（辞書使用不可）、独語（辞書使用可）、 仏語（辞書使用可）、日本語教育（辞書使用不可）、 日本文化（辞書使用不可） （１科目選択）	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格		外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者	
試験時間割 （２月試験）		10：00～11：30	13：00～
	事前選択	英語（辞書使用不可）、独語（辞書使用可）、 仏語（辞書使用可）、日本語教育（辞書使用不可）、 日本文化（辞書使用不可） （１科目選択）	面接

◆社会学研究科◆

社会学専攻

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">英語能力証明書（コピー可）のいずれかを提出できる者。
※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります
（1）IELTS アカデミック・モジュール（International English Language Testing System）
※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません
（2）TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む）
※TOEFL-ITP（団体向けプログラム）のスコアは使用できません
（3）TOEIC Listening&Reading Test, TOEIC IP, TOEIC IP（オンライン）
（4）英検</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（８月・２月試験）</td><td>10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>社会学理論
※当日試験会場にて、
「社会学、文化人類学、社会情報学、社会実践学」から１つを選択</td><td>面接</td></tr>
</table>

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">入学時において、次の２つの条件を満たしている者
（1） ４年制大学卒業後３年を経過している者
（2） 実務経験通算３年以上の者
※なお、志望する専攻に関連のある研究業績（所属機関での調査・研究報告書等を含む）がある方は、原本またはコピーを提出してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（８月・２月試験）</td><td>10：00～</td><td rowspan="2">※出願時に 6,000 字以上の研究計画書を提出すること。先行研究をふまえ、研究方法を具体的に記すこと。（研究計画書（本学所定用紙）は提出不要）</td></tr>
<tr><td>面接</td></tr>
</table>

〔外国人留学生入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（８月・２月試験）</td><td>10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>面接</td></tr>
</table>

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	英語（辞書使用可）と小論文 （小論文は、当日試験会場にて 「社会学、文化人類学、社会情報学」から１つを選択）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	次の２つの条件を満たしている者 （1）　出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有する者 （2）　入学時において実務経験を通算３年以上もつ者
試験時間割 （２月試験）	10：00～
	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者	
試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	小論文	面接

社会心理学専攻

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	15：00～
	社会心理学	英語（辞書使用可）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	入学時において、次の２つの条件を満たしている者 （1）　４年制大学卒業後３年を経過している者 （2）　心理学に関連ある事業や社会的活動に通算３年以上従事した経験をもつ者、または、将来これらの事業や社会的活動に従事しようとする者	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	小論文	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者および 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	小論文	面接

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	英語（辞書使用可）と小論文	面接

〔社会人入試〕

出願資格	入学時において、次の２つの条件を満たしている者 （1）　修士の学位を有する者 （2）　心理学に関連ある事業や社会的活動に通算３年以上従事した経験をもつ者	
試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	英語（辞書使用可）と小論文	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し修士の学位に相当する学位を授与された者および 2024 年 3 月 31 日までに修士の学位を授与される見込みの者	
試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	小論文	面接

◆法学研究科◆

試験時における持込みについて

持込める六法は以下のものに限られますので、各自用意してください。本学から六法の貸出は一切いたしません。
「ポケット六法（有斐閣）」、「デイリー六法（三省堂）」、「司法試験用六法」
なお、六法への書き込みは一切不可になっていますので注意してください。また、使用の可否については監督者の指示に従ってください。

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

口述試験は、研究計画書に関連する内容について行います。

―― 博士前期課程 ――

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）	専攻		10：00～11：30	13：00～
	私法学	事前選択	憲法、民法、商法（会社法）、民事訴訟法、 労働法、知的財産法（※２月のみ出題）、英語（辞書使用可） （１科目選択）	面接 （口述試験含む）
	公法学	事前選択	憲法、民法、行政法、刑法、刑事訴訟法、租税法、 行政学（※２月のみ出題）、政治学、国際公法、英語（辞書使用可） （１科目選択）	

※　税理士法の「学位による試験科目免除」制度の利用を希望する者は「公法学専攻」に出願し、租税法を選択すること。

〔社会人入試〕

出願資格			入学時において、次のいずれかの条件を満たしている者 (1)　４年制大学卒業後３年を経過した者 (2)　本学大学院および他大学大学院研究科を修了（見込み）の者	
試験時間割 （８月・２月試験）	専攻		10：00～11：30	13：00～
	私法学	事前選択	民法、商法（会社法）、民事訴訟法、労働法、 知的財産法（※２月のみ出題） （１科目選択）	面接 （口述試験含む）
	公法学	事前選択	憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、租税法、 行政学（※２月のみ出題）、政治学、国際公法 （１科目選択）	

※　税理士法の「学位による試験科目免除」制度の利用を希望する者は「公法学専攻」に出願し、租税法を選択すること。

〔外国人留学生入試〕

出願資格			日本の国籍を有しない者で、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者	
試験時間割 （８月・２月試験）	専攻		10：00～11：30	13：00～
	私法学	事前選択	民法、商法（会社法）、民事訴訟法、労働法、 知的財産法（※２月のみ出題） （１科目選択）	面接 （口述試験含む）
	公法学	事前選択	憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、租税法、 行政学（※２月のみ出題）、政治学、国際公法 （１科目選択）	

※　税理士法の「学位による試験科目免除」制度の利用を希望する者は一般入試か社会人入試を受験すること。

―― 博士後期課程 ――

〔一般入試〕

<table>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
（２月試験）</td><td>専攻</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td colspan="2">13：00～14：00</td><td>14：30～</td></tr>
<tr><td>私法学</td><td>事前選択</td><td>英語、独語、仏語、中国語
※（１ヵ国語選択・辞書使用可）</td><td>事前選択</td><td>民法、商法（会社法）、
民事訴訟法、労働法、
知的財産法
（１科目選択）</td><td rowspan="2">面接
（口述試験含む）</td></tr>
<tr><td>公法学</td><td>事前選択</td><td>英語、独語、仏語、中国語
※（１ヵ国語選択・辞書使用可）</td><td>事前選択</td><td>憲法、行政法、刑法、
刑事訴訟法、租税法、
行政学、国際公法
（１科目選択）</td></tr>
</table>

※母語を選択することはできません。

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="5">入学時において、４年制大学卒業後５年を経過し、出願時において、本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
（２月試験）</td><td>専攻</td><td colspan="3">10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>私法学</td><td>事前選択</td><td colspan="2">民法、商法（会社法）、民事訴訟法、労働法、知的財産法
（１科目選択）</td><td rowspan="2">面接
（口述試験含む）</td></tr>
<tr><td>公法学</td><td>事前選択</td><td colspan="2">憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、租税法、行政学、国際公法
（１科目選択）</td></tr>
</table>

〔外国人留学生入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="5">日本の国籍を有しない者で、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
（８・２月試験）</td><td>専攻</td><td colspan="3">10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>私法学</td><td>事前選択</td><td colspan="2">民法、商法（会社法）、民事訴訟法、労働法、
知的財産法（※２月のみ出題）
（１科目選択）</td><td rowspan="2">面接
（口述試験含む）</td></tr>
<tr><td>公法学</td><td>事前選択</td><td colspan="2">憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、租税法、
行政学（※２月のみ出題）、国際公法
（１科目選択）</td></tr>
</table>

◆経営学研究科◆

経営学・マーケティング専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">以下のいずれかの語学能力証明書（コピー可）を提出すること。
【英語】
※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。
(1) TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む）60 点以上
※TOEFL-ITP のスコアは使用できません
(2) TOEIC Listening & Reading Test（公開テストおよび IP テスト） 600 点以上
(3) IELTS アカデミック・モジュール 5.0 以上
※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
（8 月・11 月・2 月試験）</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事前選択 ※1</td><td><＜経営学領域＞
経営学（日本語）、経営学（英語）</td><td rowspan="2">面接
（日本語または英語）</td></tr>
<tr><td><＜マーケティング領域＞
マーケティング（日本語）、マーケティング（英語）</td></tr>
</table>

経営学の教員による研究指導希望の方は経営学領域を、マーケティングの教員による研究指導希望の方はマーケティング領域を選択してください。
教員は本学 Web サイトで確認してください。
※1　ただし、出願時に選んだ、修士論文で使用する言語（日本語または英語）で解答してください。
　　なお、11 月入試は、筆記試験及び面接試験は日本語のみで実施します。

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">出願時において、本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、入学時において、４年制大学を卒業後５年を経過した者</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
（8 月・11 月・2 月試験）</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事前選択 ※1</td><td><＜経営学領域＞
経営学（日本語）、経営学（英語）</td><td rowspan="2">面接
（日本語または英語）</td></tr>
<tr><td><＜マーケティング領域＞
マーケティング（日本語）、マーケティング（英語）</td></tr>
</table>

経営学の教員による研究指導希望の方は経営学領域を、マーケティングの教員による研究指導希望の方はマーケティング領域を選択してください。
※1　ただし、出願時に選んだ、修士論文で使用する言語（日本語または英語）で解答してください。
　　なお、11 月入試は、筆記試験及び面接試験は日本語のみで実施します。

〔外国人留学生入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格があることに加え、
本学が定める以下の証明書（コピー可）のいずれかを提出できる者。
（1）日本語能力証明書（日本語能力試験N1 または旧１級）日本国際教育支援協会、国際交流基金（共催の協力機関）が実施している日本語能力試験の N1 または旧１級
（2）英語能力証明書（IELTS または TOEFL）
※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。
1） IELTS アカデミック・モジュール
※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません
2） TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む）
※TOEFL-ITP のスコアは使用できません</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
（8 月・11 月・2 月試験）</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事前選択 ※1</td><td><＜経営学領域＞※2
経営学（日本語）、経営学（英語）</td><td rowspan="2">面接
（日本語または英語）</td></tr>
<tr><td><＜マーケティング領域＞※2
マーケティング（日本語）、マーケティング（英語）</td></tr>
</table>

経営学の教員による研究指導希望の方は経営学領域を、マーケティングの教員による研究指導希望の方はマーケティング領域を選択してください。
※1　ただし、出願時に選んだ、修士論文で使用する言語（日本語または英語）で解答してください。言語を英語で解答する場合は、必ず英語能力証明書を提出してください。なお、11 月入試は、筆記試験及び面接試験は日本語のみで実施します。
※2　筆記試験において、日本語能力証明書提出者は日本語の試験問題、英語能力証明書提出者は英語の試験問題を選択してください。

── 博士後期課程 ──

※全入試区分共通

出願資格	以下のいずれかの語学能力証明書（コピー可）を提出すること。 【英語】以下(1)～(3)のいずれかとする。 ※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。 (1) TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む）60 点以上 ※TOEFL-ITP のスコアは使用できません (2) TOEIC Listening & Reading Test （公開テストおよび IP テスト）600 点以上 (3) IELTS アカデミック・モジュール 5.0 以上 ※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません 【ドイツ語】以下(1), (2)のいずれかとする。 (1) ドイツ語圏の大学を卒業、あるいは大学院を修了している場合は、その証明書類の写しを提出する。 (2) 以下を取得している場合は、証明書の写しを提出する。 ・ DSH ： Deutsche Sprachprüfung für den Hochschulzugang ausländischer Studienbewerber – Stufe 1 ・ Test DaF：Test Deutsch als Fremdsprache）－ mindestens Stufe 3 in jedem Teilbereich ・ DSD (Deutsches Sprachdiplom）－ Stufe II ・ telc Deutsch B2 ・ Goethe-Zertifikat B2 ・ Österreichisches Sprachdiplom Deutsch (ÖSD) B2 Mittelstufe Deutsch ※ドイツ語技能検定は、何級であっても認めない。 【フランス語】以下(1)～(3)のいずれかとする。 (1) 以下の欧州評議会が B2 相当以上と認定するフランス語資格について，証明書類の写しを提出した場合、証明書発行が間に合わなければ，仮証書の写しでも可とする。 ・ フランス国民教育省認定 DELF B2，DALF C1 または C2 ・ フランス国民教育省認定 TCF TP 必須試験または TCF SO で B2（400 点）以上。TCF ANF，TCF Québec，TCF Canada も B2 以上なら同様の扱いとする。なお，補足試験は未受験でも構わない ・ パリ商工会議所による TEF で B2（541 点）以上。TEF Canada，TEFaQ も B2 以上なら同様の扱いとする ・ パリ商工会議所による DFP Affaires / Secrétariat / Relation Internationale で B2 または C1 (2) フランス国民教育省による TCF DAP に合格したことがあり，その証明書の写しを提出した場合。なお，その後の LMD 取得の有無は問わない。 (3) フランス共和国で Baccalauréat général または Baccalauréat STMG を取得しており，その証明書の写しを提出した場合。 ※実用フランス語技能検定、DELF junior、DFP Tourisme - Hôtellerie - Restauration は何級であっても（どのレベルでも）認めない。

〔一般入試〕

試験時間割 （２月試験）	10：00～
	面接

〔社会人入試〕

出願資格	出願時において、本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有し、入学時において、大学院博士前期課程・修士課程を修了後５年を経過した者
試験時間割 （２月試験）	10：00～
	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者
試験時間割 （２月試験）	10：00～
	面接

ビジネス・会計ファイナンス専攻

── 博士前期課程 ──

＊経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程は次のコースで構成されており、入学後は出願時に志望したコースとなります。

１．企業家・経営幹部養成コース	２．会計ファイナンス専門家養成コース	３．中小企業診断士登録養成コース

＊税理士法の「学位による試験科目免除」制度の利用を希望する者は通常の出願資格に加え、以下の２つの要件を全て満たす必要があります。
①税理士試験５科目のうち１科目に合格していること（出願時に合格を証明する書類を提出すること）。
②会計ファイナンス専門家養成コースに出願すること。

１．企業家・経営幹部養成コース

・８月試験は2023年秋入学および2024年４月入学のための入試となります。
・企業家・経営幹部養成コースを希望する外国籍の方は、日本語能力証明書（日本語能力試験N1または旧１級）を提出してください。(コピー可)

〔一般入試〕

<table>
<tr><td rowspan="3">試験時間割
(8月・11月・2月試験)</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td>14：00～</td></tr>
<tr><td>必修</td><td>経営学</td><td rowspan="2">面接</td></tr>
<tr><td colspan="2">経営学、マーケティング、会計学
(当日試験会場にて上記から１問を選択)</td></tr>
</table>

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td>出願時において、本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、入学時において、官公庁、企業等に通算２年以上在職していて、入学後も引き続き現職で在職の意志がある者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
(8月・11月・2月試験)</td><td>14：00～</td></tr>
<tr><td>面接</td></tr>
</table>

２．会計ファイナンス専門家養成コース

・８月試験は2023年秋入学および2024年４月入学のための入試となります。

〔一般入試①〕

<table>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（8月・11月・2月試験）</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td>14：00～</td></tr>
<tr><td>必修</td><td>経営学、会計学の２科目</td><td>面接</td></tr>
</table>

〔一般入試②〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td>出願時において、本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、かつ、税理士試験の「簿記論」または「財務諸表論」の合格を証明する書類として、税理士試験等結果通知書（コピー）を提出できる者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（8月・11月・2月試験）</td><td>14：00～</td></tr>
<tr><td>面接</td></tr>
</table>

〔社会人入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td>出願時において、本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、入学時において、４年制大学を卒業後５年を経過した者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（8月・11月・2月試験）</td><td>14：00～</td></tr>
<tr><td>面接</td></tr>
</table>

〔外国人留学生入試〕

<table>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験時間割
（8月・11月・2月試験）</td><td colspan="2">10：00～11：30</td><td>14：00～</td></tr>
<tr><td>必修</td><td>経営学、会計学の２科目</td><td>面接</td></tr>
</table>

３．中小企業診断士登録養成コース

・本コースでは秋入学は行っておりません。４月入学のみになります。
・本コースでは外国人留学生が留学の「在留資格」を申請をすることはできません。
・本コースでは入学前の３月中旬よりガイダンス・授業に参加する必要があります。

出願資格

東洋大学大学院博士前期課程への出願資格を有する者で、以下の（1）または（2）の条件に該当する者。
条件（1）　事前教育演習を実施する年度またはその前年度において、中小企業診断士国家試験の第１次試験に合格した者。
条件（2）　平成 12 年度以前の制度において中小企業診断士国家試験の第１次試験に合格した者、ただし、平成 13 年度以降の中小企業診断士国家試験の第２次試験を受験した者、平成 18 年度４月以降に独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する養成課程又は国に登録した他の養成機関が実施する登録養成課程を受講した者を除く。

本コースと中小企業診断士国家試験第２次試験との併願について

本コースと第２次試験は併願できますが、第２次試験の合格者は登録養成課程制度の趣旨に鑑み受け入れておりません。併願されている方が第２次試験に合格された場合には、入学を辞退していただきます。なお、辞退された場合も入学検定料・入学金の返還はいたしません（入学手続後の納付金の返還はp.17 参照）。
また、入学後、在学中に第２次試験に合格された場合でも、登録養成課程制度の趣旨に鑑み引き続き本コースに所属することはできません。

中小企業診断士登録養成コースの「繰上合格」の取扱について

繰上合格は、正規合格者の入学手続状況等により実施の有無が決定します。対象となる入学試験は、中小企業診断士養成コースの２月試験（一般入試、社会人入試）のみです。２月試験（一般入試、社会人入試）合格発表時に「マイページ」内にて詳細をお知らせします。繰上合格を実施する場合でも、必ず、繰上合格候補者全員が合格となるものではありません。

〔一般入試〕（4 年制大学を卒業見込みまたは、卒業後５年未満の方はこちらの入試方式を選択してください。）

出願資格	出願時において本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、かつ、上記の条件（1）または（2）を満たす者	
試験時間割 （11 月・2 月試験）	10：00～	
	面接１	面接２

※　受験者毎で時間割が異なります。昼食は各自でご用意下さい。

〔社会人入試〕

出願資格	出願時において本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、かつ、上記の条件（1）または（2）を満たす者で、４年制大学を卒業後５年を経過した者	
試験時間割 （11 月・2 月試験）	10：00～	
	面接１	面接２

※　受験者毎で時間割が異なります。昼食は各自でご用意下さい。

── 博士後期課程 ──

出願資格	以下のいずれかの語学能力証明書（コピー可）を提出すること。 【英語】以下(1)～(3)のいずれかとする。 ※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。 (1) TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む）60 点以上 ※TOEFL-ITP のスコアは使用できません (2) TOEIC Listening & Reading Test （公開テストおよび IP テスト）600 点以上 (3) IELTS アカデミック・モジュール 5.0 以上 ※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません 【ドイツ語】以下(1), (2)のいずれかとする。 (1) ドイツ語圏の大学を卒業、あるいは大学院を修了している場合は、その証明書類の写しを提出する。 (2) 以下を取得している場合は、証明書の写しを提出する。 ・ DSH ： Deutsche Sprachprüfung für den Hochschulzugang ausländischer Studienbewerber – Stufe 1 ・ Test DaF：Test Deutsch als Fremdsprache）－ mindestens Stufe 3 in jedem Teilbereich ・ DSD (Deutsches Sprachdiplom）－ Stufe II ・ telc Deutsch B2 ・ Goethe-Zertifikat B2 ・ Österreichisches Sprachdiplom Deutsch (ÖSD) B2 Mittelstufe Deutsch ※ドイツ語技能検定は、何級であっても認めない。 【フランス語】以下(1)～(3)のいずれかとする。 (1) 以下の欧州評議会が B2 相当以上と認定するフランス語資格について，証明書類の写しを提出した場合、証明書発行が間に合わなければ，仮証書の写しでも可とする。 ・ フランス国民教育省認定 DELF B2，DALF C1 または C2 ・ フランス国民教育省認定 TCF TP 必須試験または TCF SO で B2（400 点）以上。TCF ANF，TCF Québec，TCF Canada も B2 以上なら同様の扱いとする。なお，補足試験は未受験でも構わない ・ パリ商工会議所による TEF で B2（541 点）以上。TEF Canada，TEFaQ も B2 以上なら同様の扱いとする ・ パリ商工会議所による DFP Affaires / Secrétariat / Relation Internationale で B2 または C1 (2) フランス国民教育省による TCF DAP に合格したことがあり，その証明書の写しを提出した場合。なお，その後の LMD 取得の有無は問わない。 (3) フランス共和国で Baccalauréat général または Baccalauréat STMG を取得しており，その証明書の写しを提出した場合。 ※実用フランス語技能検定、DELF junior、DFP Tourisme - Hôtellerie - Restauration は何級であっても（どのレベルでも）認めない。

・８月試験は 2023 年秋入学のための入試、２月試験は 2024 年４月入学のための入試となります。

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）	12：00～
	面接

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有し、入学時に大学院博士前期課程・修士課程を修了後５年を経過した者
試験時間割 （８月・２月試験）	12：00～
	面接

◆経済学研究科◆

経済学専攻

―― 博士前期課程 ――

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	15：00～
	論述試験 （ミクロ経済、マクロ経済）	小論文　※1	口述試験

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、企業または官公庁に通算２年以上在職した経験を有する者	
試験時間割 （８月・２月試験）	13：00～14：00	15：00～
	小論文　※1	口述試験

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	15：00～
	論述試験 （ミクロ経済、マクロ経済）	小論文　※1	口述試験

※1　事前に提示する課題について、当日解答していただく方式となります。試験に資料を持ち込むことはできません。
課題は以下の Web サイトで公開していますので必ず確認してください。
https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/hakusan/

―― 博士後期課程 ――

〔一般入試〕

試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	必修	英語 （辞書使用可）	口述試験

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有し、企業または官公庁に通算２年以上在職した経験がある者
試験時間割 （８月・２月試験）	11：00～
	口述試験

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者		
試験時間割 （２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	必修	英語 （辞書使用可）	口述試験

公民連携専攻

── 修士課程 ──

公民連携専攻では、学生のニーズに合わせたコース制および領域を採用しており、領域ごとに推奨科目を設定しています。標準コース（シティ・マネジメント領域、PPP ビジネス領域、Global PPP 領域）と、プロフェッショナルコースでは標準修業年限に違いがあり、出願の際に選択する必要があります。
各コースおよび領域の詳細については、専攻 Web サイトを確認してください。(https://www.pppschool.jp/outline/learning/)

		標準コース			プロフェッショナルコース
		シティ・マネジメント領域	PPP ビジネス領域	Global PPP 領域	
標準修業年限		2 年	2 年	2 年	1 年
出願資格		P40～41 参照	P40～41 参照	P40～41 参照	※1
入試区分	一般	●	●	●	
	社会人	●	●	●	●
	外国人留学生	●	●	●	
	地方創生	●	●	●	●
入学時期		4 月、9 月	4 月、9 月	4 月、9 月	4 月、9 月
出願時の指定		【標準コース】を指定（3 コースの指定は不要）			【プロフェッショナルコース】を指定※2

※1 以下のいずれかを満たす者
(a) 公職選挙法における公職（衆議院議員、参議院議員並びに地方公共団体の議会の議員及び長の職）に現に就いている者、または、出願時点の 5 年度以内に就いていた者。
(b) 我が国または外国において、修士、博士または専門職学位を授与された者および入学時までに授与される見込の者で、かつ、企業または官公庁等において、通算 10 年以上の勤務経験を有する者。
(c) 企業または官公庁等において、通算 20 年以上の勤務経験を有する者。
※2 出願前に専攻長と事前相談を行うことを推奨します。同一入試における標準コースとの併願はできません。
※3 入学後に標準コースとプロフェッショナルコースを変更することはできません。

・８月試験は 2023 年秋入学および 2024 年４月入学のための入試となります。
・入試はオンラインにより実施します。海外遠隔入試を除き、日本国内からの接続が必要となります。
　その他必要な事項については、専攻 Web サイト（http://www.pppschool.jp）を参照してください。
・本専攻は通信教育課程ではありません。一部通学が必要です。

〔一般入試〕

試験時間割 （8 月・11 月・3 月試験）	10：00～
	事前課題に関する口述試験および面接【日本語または英語】（オンライン実施）
事前課題 （8 月・11 月・3 月試験共通）	別紙の事前課題（公民連携に関する時事問題）を出願書類と一緒に提出すること

〔社会人入試〕

※遠隔システムを用いて海外現地で入試を受験することができる「海外遠隔入試」については、次ページの「○海外遠隔での入試受験（略称「海外遠隔入試」）を希望の者」を参照ください。

出願資格	出願時に本学が定める大学院修士課程への出願資格を有し、企業または官公庁等に通算１年以上在職した経験を有する者
試験時間割 （8 月・11 月・3 月試験）	10：00～
	面接【日本語または英語】（オンライン実施）

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院修士課程への出願資格がある者
試験時間割 （8 月・11 月・3 月試験）	10：00～
	事前課題に関する口述試験および面接【日本語または英語】（オンライン実施）
事前課題 （8 月・11 月・3 月試験共通）	別紙の事前課題（公民連携に関する時事問題）を出願書類と一緒に提出すること

〔地方創生入試〕

出願資格	以下のＡ・Ｂいずれかの資格を満たす者 A 地方創生カレッジ連携入試　※（1）・（2）の両方を満たすこと （1）出願時において、企業または官公庁等に通算１年以上在職している者 （2）出願期間までに、東洋大学シティ・マネジメント基礎力育成プログラムとして提供する科目の内、任意の８科目を修了（60%以上）した者または任意の４科目を優秀修了（80%以上）した者 B 地方自治体連携入試 出願時において、「本学と公民連携に関する協定等を締結している自治体」、または、「別途定める公民連携を積極的に推進していると認められる団体と所定の連携を行っている地方自治体」に通算１年以上在職している者
試験時間割 （8 月・11 月・3 月試験）	10：00～
	面接【日本語または英語】（オンライン実施）

地方創生カレッジ連携入試は、国が行う地方創生人材プランに基づく地方創生カレッジ事業にかかる連携入試制度です。
募集定員 30 名のうち 10 名を地方創生入試の優先枠として設定しています。
地方自治体連携入試の対象となる自治体については、専攻 Web サイト（http://www.pppschool.jp）を参照してください。

○海外遠隔での入試受験（略称「海外遠隔入試」）を希望の者

「社会人入試」受験希望で、以下に該当する者は、遠隔システムを用いて海外現地で入試を受験することができる。

1）出願資格

①出願時において、企業または官公庁等に通算１年以上在職した経験を有する者（「社会人入試」出願資格）
②入学試験時間（日程、時間は日本標準時）において、公民連携にかかわる業務の遂行のために国外に居住または滞在している者
③在外中に本人に代わって、出願手続、入就学など在学に関わる手続を行うことができる代理人が日本国内にいる者
④出願前に、専攻長に相談し承諾を受けた者
⑤一部通学が可能な者（本専攻は通信教育課程ではありません）

2）受験方法

①本専攻で実際に活用しているインターネット遠隔教育のシステムを用いる
②システムの使用に必要な事項は専攻 Web サイト（http://www.pppschool.jp）を参照すること
③使用環境は受験者の責任において確保し、事前に問い合わせるとともに、本学との間でシステムの接続テストを実施するものとする

◆国際学研究科◆

グローバル・イノベーション学専攻

・本専攻は、授業・研究指導・学位論文執筆を英語で行います。
・８月試験は2023年秋入学および2024年４月入学のための入試となります。

── 修士課程 ──

出願資格

本学が定める大学院修士課程への出願資格を有する者で、次の条件をすべて満たす者。

(1) 本学が定める以下の証明書（コピー可）のいずれかを提出できる者。

英語能力証明書（IELTS または TOEFL）
※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。
① IELTS アカデミック・モジュール （International English Language Testing System）
※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません
② TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む）（Test of English as a Foreign Language）
※TOEFL-ITP のスコアは使用できません

ただし、英語を公用語としている国の出身者、もしくはそれに相当する英語能力を有する者で、英語能力に関する資格を取得しておらず上記の証明書を提出できない場合に限り、「English-Language Ability Certificate」（所定書式）の提出をもって代えることができます。本学 Web サイトから所定用紙をダウンロードして作成し、公的機関（大使館等）・大学から証明を受けたものを提出してください。
（オーストラリア、カナダ、アイルランド、ニュージーランド、シンガポール、イギリスまたはアメリカ合衆国において、４年制の大学にて英語で教育を受け卒業された方は、「English-Language Ability Certificate」にその旨を記載してください。なお、記載責任者の役職は問いません）。

(2) 研究計画書を提出できる者。研究計画書は以下のとおりとする。
①様式は本学所定用紙を使用すること。
②使用する言語は英語が望ましいが、日本語も可とする。
③枚数（文字数）は自由とするが、１枚目に「研究計画の概要」、２枚目以降に「詳細」を記載すること。

〔一般入試〕

出願資格	上記の出願資格を満たす者
試験時間割 （8 月・11 月・2 月試験）	10：00～
	面接 【原則英語とする】

〔社会人入試〕

出願資格	出願時において４年制大学を卒業しており、上記の出願資格を満たす者
試験時間割 （8 月・11 月・2 月試験）	10：00～
	面接 【原則英語とする】

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、上記の出願資格を満たす者
試験時間割 （8 月・11 月・2 月試験）	10：00～
	面接 【原則英語とする】

国際地域学専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。
・８月試験は 2023 年秋入学および 2024 年４月入学のための入試となります。

出願資格　**一般入試・外国人留学生入試出願者のみ。**

本学が定める大学院博士前期課程・博士後期課程への出願資格を有する者で、本学が定める以下の証明書（コピー可）のいずれかを提出できる者。

（1）論文（英語）選択者
英語能力証明書（IELTS または TOEFL）
※英語能力試験のスコアは、出願開始日から遡って２年以内に受験したものに限ります。
　1）IELTS アカデミック・モジュール（International English Language Testing System）
　　※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません
　2）TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition 含む）（Test of English as a Foreign Language）
　　※TOEFL-ITP（団体向けプログラム）のスコアは使用できません

（2）論文：日本語選択者
上記（1）の試験に加え、以下も対象とする
・TOEIC Listening&Reading Test,　TOEIC IP,　TOEIC IP（オンライン）
・英検

外国人留学生入試出願者で、論文（日本語）を選択する場合には、下記の証明書も提出すること
○日本語能力証明書（日本語能力試験 N1 または旧１級）**※証明書が提出できない方は、一般入試を受験してください。**
　国際交流基金、日本国際教育支援協会、公益財団法人交流協会が実施している日本語能力試験の N1 または旧１級

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

出願資格	上記の出願資格を満たす者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	事前選択	論文（英語）、論文（日本語）	面接 （英語または日本語を使用）

〔社会人入試〕

出願資格	次の条件を全て満たす者 （1）出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有する者 （2）出願時において、企業・団体もしくは官公庁等にて研究計画に関連する業務に通算１年以上携わった経験を有する者 （3）入学時において４年制大学卒業後２年以上を経過した者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	事前選択	論文（英語）、論文（日本語）	面接 （英語または日本語を使用）

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、本学が定める大学院博士前期課程への出願資格があることに加え、上記の出願資格を満たす者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	事前選択	論文（英語）、論文（日本語）	面接 （英語または日本語を使用）

〔JICA ボランティア入試　※短期派遣は除く〕

出願資格	本学が定める大学院博士前期課程への出願資格に加え、次の３つの条件を満たしている者 （1） 出願時において、JICA 海外協力隊（青年海外協力隊・シニア海外協力隊・日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊　※短期派遣は除く）の募集選考を受験し、合格している者 （2） 在外中に本人に代わって入就学・在学に関わる諸手続を行うことが出来る代理人が日本国内にいる者 （3） 受入教員の承諾があった者
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～
	面接（英語または日本語を使用）

※JICA ボランティア入試に出願する場合は、必ず事前に大学院教務課へ問い合わせをしてください。
博士前期課程の JICA ボランティア入試は、長期履修制度の対象となります。詳しくは本学 Web サイトをご確認ください。
※派遣先での面接の場合、事前に接続試験を実施します。現地派遣後、必ず受入教員と連絡を取るとともに、大学院教務課へご連絡ください。（メールアドレス：mldaig@toyo.jp）

―― 博士後期課程 ――

〔一般入試〕

出願資格	前ページの出願資格を満たす者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	事前選択	論文（英語）、論文（日本語）	面接 （英語または日本語を使用）

〔社会人入試〕

出願資格	次の条件を全て満たす者 （1）出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有する者 （2）出願時において、企業・団体もしくは官公庁等にて研究計画に関連する業務に通算１年以上携わった経験を有する者 （3）入学時において修士課程を修了後２年以上を経過した者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	事前選択	論文（英語）、論文（日本語）	面接 （英語または日本語を使用）

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、本学が定める大学院博士後期課程への出願資格があることに加え、前ページの出願資格を満たす者		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30		13：00～
	事前選択	論文（英語）、論文（日本語）	面接 （英語または日本語を使用）

〔JICA ボランティア入試　※短期派遣は除く〕

出願資格	本学が定める大学院博士後期課程への出願資格に加え、次の３つの条件を満たしている者 （1） 出願時において、JICA 海外協力隊（青年海外協力隊・シニア海外協力隊・日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊　※短期派遣は除く）の募集選考を受験し、合格している者 （2） 在外中に本人に代わって入就学・在学に関わる諸手続を行うことが出来る代理人が日本国内にいる者 （3） 受入教員の承諾があった者
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～
	面接（英語または日本語を使用）

※JICA ボランティア入試に出願する場合は、必ず事前に大学院教務課へ問い合わせをしてください。
※派遣先での面接の場合、事前に接続試験を実施します。現地派遣後、必ず受入教員と連絡を取るとともに、大学院教務課へご連絡ください。（メールアドレス：mldaig@toyo.jp）

◆国際観光学研究科◆

国際観光学専攻

事前選択 は出願時にその科目を申告するものです。インターネット出願の際に選択してください。
・８月試験は 2023 年秋入学および 2024 年４月入学のための入試となります。

── 博士前期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00		14：30～
	論文 （英語または日本語を使用）	**事前選択**	英語または日本語注) （辞書使用不可）	面接

注）「日本語」は外国籍の方のみ選択できます。インターネット出願の際に選択してください。日本人学生は英語を選択してください。

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格を有し、入学時において、４年制大学卒業後１年以上を経過し、企業もしくは官公庁等（含自営）に通算１年以上在職した経験を有する者（常勤のみ）	
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～
	論文（英語または日本語を使用）	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士前期課程への出願資格がある者			
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00		14：30～
	論文 （英語または日本語を使用）	**事前選択**	英語または日本語 （辞書使用不可）	面接

〔JICA ボランティア入試　※短期派遣は除く〕

出願資格	本学が定める大学院博士前期課程への出願資格に加え、次の３つの条件を満たしている者 （１） 出願時において、JICA 海外協力隊（青年海外協力隊・シニア海外協力隊・日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊　※短期派遣は除く）の募集選考を受験し、合格している者 （２） 在外中に本人に代わって入就学・在学に関わる諸手続を行うことが出来る代理人が日本国内にいる者 （３） 受入教員の承諾があった者
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～
	面接

※JICA ボランティア入試に出願する場合は、必ず事前に大学院教務課へ問い合わせをしてください。
　JICA ボランティア入試は、長期履修制度の対象となります。詳しくは本学 Web サイトをご確認ください。
※派遣先での面接の場合、事前に接続試験を実施します。現地派遣後、必ず受入教員と連絡を取るとともに、大学院教務課へご連絡ください。（メールアドレス：mldaig@toyo.jp）

── 博士後期課程 ──

〔一般入試〕

試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	14：30～
	論文 （英語または日本語を使用）	英語 （辞書使用可）	面接

〔社会人入試〕

出願資格	出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格を有し、入学時に企業もしくは官公庁等（含自営）に在職した経験を通算１年以上有する者（常勤のみ）		
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00	14：30～
	論文 （英語または日本語を使用）	英語 （辞書使用可）	面接

〔外国人留学生入試〕

出願資格	外国籍を有し、出願時に本学が定める大学院博士後期課程への出願資格がある者			
試験時間割 （８月・２月試験）	10：00～11：30	13：00～14：00		14：30～
	論文 （英語または日本語を使用）	事前選択	英語または日本語 （辞書使用不可）	面接

出願書類一覧（博士前期・修士課程）

研究科・専攻	試験区分	提出書類	志願票①②	志願票③【外国籍の方】	履歴調書（所定用紙）	調査書（所定用紙）	研究計画書（所定用紙）	事前課題（所定用紙）	専攻指定の研究計画書（所定用紙なし）	卒業（見込）証明書・成績証明書（改姓している場合は戸籍抄本を添付）	在留カードの両面コピー または住民票（※在留資格・在留期間が記載されたもの）【外国籍の方】	論文要旨・修士論文・卒業論文・その他
文学	哲学	一般・社会人	○	○	○	○	○			○	○	
文学	インド哲学仏教学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	
文学	日本文学文化	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	
文学	中国哲学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	
文学	英文学	一般・社会人	○	○	○	○	○			○	○	
文学	史学	一般・社会人	○	○	○	○	○ 注１			○	○	卒業論文またはその写し２部。出願時において卒業論文が提出できないものは、それに相当する論文（２部）、または研究計画書（4,000 字～5,000 字、２部）を提出してください。 注１：研究計画書（4,000～5,000 字）を提出する場合、本学所定の研究計画書の提出は不要です。
文学	教育学	一般・社会人	○	○	○	○	○			○	○	
文学	国際文化コミュニケーション	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○	○		○	○	
社会学	社会学	一般	○	○	○	○	○			○	○	専攻指定の英語能力証明書（P.28）を提出してください（コピー可）。
社会学	社会学	社会人	○	○	○	○			○ 注２	○	○	注２：6,000 字以上の研究計画書（A4 判横書、原則として文書作成ソフトを使用）を１部提出してください。
社会学	社会学	外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	日本語能力証明書（日本語能力試験 N1 または旧１級）を提出してください。（コピー可）
社会学	社会心理学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	外国人留学生入試出願者は、日本語能力証明書（日本語能力試験 N1 または旧１級）を提出してください。（コピー可）

※このページは博士前期課程・修士課程出願者用です。博士後期課程へ出願の方は pp. 50～52 をご確認ください。

出願書類一覧（博士前期・修士課程）

研究科・専攻	試験区分	提出書類	志願票①②	志願票③【外国籍の方】	履歴調書（所定用紙）	調査書（所定用紙）	研究計画書（所定用紙）	事前課題（所定用紙）	専攻指定の研究計画書（所定用紙なし）	卒業（見込）証明書・成績証明書（改姓している場合は戸籍抄本を添付）	在留カードの両面コピー または住民票【外国籍の方】※在留資格・在留期間が記載されたもの	論文要旨・修士論文・卒業論文・その他
法学	私法学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	
法学	公法学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	
経営学	経営学・マーケティング	一般	○	○	○	○	○			○	○	専攻指定の語学能力証明書（p.33 参照）を提出してください（コピー可）。
経営学	経営学・マーケティング	社会人	○	○	○	○	○		○ 注３	○	○	注３：「これまでの研究成果に関する小論文」（A4 判 3 枚程度）と「実務経験に関するレポート」（A4 判横書 1 枚程度）を提出してください。ともに原則として手書き不可、修士論文で使用する言語で作成してください。あわせて、本学所定の研究計画書もご提出下さい。
経営学	経営学・マーケティング	外国人留学生	○	○	○	○	○ 注４			○	○	・卒業論文の要旨、卒業論文のない者は専攻分野の著書について書評を提出してください。（要旨、書評とも A4 判横書 2 枚程度、原則として手書き不可、修士論文で使用する言語で作成すること） ・専攻指定の語学能力証明書（p.33 参照）を提出してください（コピー可）。 注４：修士論文で使用する言語で作成すること。
経営学	ビジネス・会計ファイナンス	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	・企業家・経営幹部養成コースを希望する外国籍の方は、日本語能力証明書（日本語能力試験 N1 または旧 1 級）を提出してください。（コピー可） ・会計ファイナンス専門家養成コース出願者のうち、税理士法の「学位による試験科目免除」制度の利用を希望する者は、税理士試験科目合格を証明する書類（写）、研究計画書（A4 判横書 6,000 文字程度）を提出してください。 研究計画書（A4 判横書 6,000 文字程度）を提出する場合、本学所定の研究計画書は提出不要です。 ・中小企業診断士登録養成コース出願者のみ中小企業診断士第 1 次試験合格証（写）を提出してください。なお、平成 12 年度以前の第 1 次試験合格者は、試験当日に原本の持参も必要となります。また、研究計画書は本学所定用紙 2 枚以内もしくは A4 判横書 6,000 文字程度のいずれかをご提出ください。

※このページは博士前期課程・修士課程出願者用です。博士後期課程へ出願の方は pp. 50～52 をご確認ください。

出願書類一覧（博士前期・修士課程）

研究科・専攻	試験区分	提出書類	志願票①②	志願票③【外国籍の方】	履歴調書（所定用紙）	調査書（所定用紙）	研究計画書（所定用紙）	事前課題（所定用紙）	専攻指定の研究計画書（所定用紙なし）	成績証明書・卒業（見込）証明書（改姓している場合は戸籍抄本を添付）	在留カードの両面コピー または住民票（※在留資格・在留期間が記載されたもの）【外国籍の方】	その他・卒業論文・修士論文・論文要旨
経済学	経済学	一般・社会人 外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	TOEFL インターネット版テスト（iBT　※Home Edition 含む）、TOEIC Listening&Reading Test、IELTS アカデミック・モジュールのスコア（コピー可）を提出できる者は、提出してください。
	公民連携	社会人・ 地方創生	○	○	○	○	○			○	○	・地方創生入試のうち、地方創生カレッジ連携入試での出願者のみ、東洋大学シティ・マネジメント基礎力育成プログラム修了を証する書類を提出してください。 ・プロフェッショナルコース出願者のみ、専攻指定の研究計画書（所定用紙あり）を提出してください。
		一般・ 外国人留学生	○	○	○	○	○	○		○	○	別紙の事前課題を出願書類と一緒に提出してください。
国際学	グローバル・ イノベーション学	一般・社会人 外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	英語能力証明書（p.42 参照。コピー可）または本大学院指定の「English-Language Ability Certificate」を提出してください。
	国際地域学	一般・社会人・ 外国人留学生・ JICA ボランティア	○	○	○	○	○			○	○	・JICA ボランティア入試出願者は、二次選考合格通知の写しを提出してください。 ・一般、外国人留学生入試出願者は英語能力証明書（p.43 参照）を提出すること。また外国人留学生入試出願者で論文（日本語）を選択する場合には、日本語能力証明書（p.43 参照）を提出すること。（コピー可）
国際 観光学	国際観光学	一般・社会人・ 外国人留学生・ JICA ボランティア	○	○	○	○	○			○	○	JICA ボランティア入試出願者は、二次選考合格通知の写しを提出してください。

※このページは博士前期課程・修士課程出願者用です。博士後期課程へ出願の方は pp.50～52 をご確認ください。

出願書類一覧（博士後期課程）

研究科・専攻	試験区分	提出書類	志願票①②	志願票③【外国籍の方】	履歴調書（所定用紙）	調査書（所定用紙）	研究計画書（所定用紙）	事前課題（所定用紙）	専攻指定の研究計画書（所定用紙なし）	卒業（見込）証明書・成績証明書（改姓している場合は戸籍抄本を添付）	在留カードの両面コピー または住民票【外国籍の方】※在留資格・在留期間が記載されたもの	修士論文・論文要旨・論文要約・その他
文学	哲学	一般	○	○	○	○	○			○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し2部および論文要旨（A4判横書2,400字以内、原則として文書作成ソフト使用）3部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。
文学	インド哲学仏教学	一般・ 外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し1部および論文要旨（A4判横書2,400字以内、原則として文書作成ソフト使用）3部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。
文学	日本文学文化	一般・社会人・ 外国人留学生	○	○	○	○	○ 注1			○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し1部および論文要旨（A4判横書2,400字以内、原則として文書作成ソフト使用）3部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。 注1：研究計画書には、次の（1）～（4）の内容を入れてください。 （1）後期課程で研究しようとするテーマの説明 （2）当該研究テーマと関連して重要な先行文献 （3）志願者がこれまでに行った作業 （4）後期課程3年間の研究計画
文学	中国哲学	一般・社会人	○	○	○	○	○			○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し1部および論文要旨（A4判横書2,400字以内、原則として文書作成ソフト使用）3部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。
文学	英文学	一般	○	○	○	○	○			○	○	
文学	史学	一般・社会人	○	○	○	○			○ 注2	○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し2部および論文要旨（A4判横書2,400字以内、原則として文書作成ソフト使用）3部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。 ※研究テーマに関する研究業績のある方は、1編ないし2編を提出してください。 注2：A4判横書4,000字以内で、次の（1）～（4）（必要に応じて（5）も）それぞれについてなるべく具体的に記し、全体で2,000字～4,000字の研究計画を作成してください。（原則として文書作成ソフト使用） （1）本課程で研究しようとするテーマ （2）当該研究テーマに関する研究史の概要および当該研究テーマの位置付け （3）当該研究テーマに関する史料状況および志願者が現在までに既に行った作業 （4）博士後期課程3年間における当該研究テーマ等の研究計画（特に具体的に） （5）その他、当該研究を進める上での特記事項
文学	教育学	一般・社会人	○	○	○	○	○			○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し1部および論文要旨（A4判横書2,400字以内、原則として文書作成ソフト使用）3部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。
文学	国際文化 コミュニケーション	一般・社会人・ 外国人留学生	○	○	○	○	○	○		○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し1部および論文要旨（A4判横書、日本語2,400字以内あるいは英語または独語または仏語1,000words以内、原則として文書作成ソフト使用）3部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。

※このページは博士後期課程出願者用です。博士前期課程・修士課程へ出願の方は pp. 47～49 をご確認ください。

出願書類一覧（博士後期課程）

研究科・専攻	試験区分	提出書類	志願票①②	志願票③【外国籍の方】	履歴調書（所定用紙）	調査書（所定用紙）	研究計画書（所定用紙）	事前課題（所定用紙）	専攻指定の研究計画書（所定用紙なし）	成績証明書・卒業（見込）証明書（改姓している場合は戸籍抄本を添付）	在留カードの両面コピー または住民票【外国籍の方】※在留資格・在留期間が記載されたもの	論文要約・論文要旨・修士論文・その他
社会学	社会学	一般	○	○	○	○	○			○	○	・他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し 1 部および論文要旨（A4 判横書 2,400 字以内、原則として文書作成ソフト使用）3 部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。 ・外国人留学生入試出願者は、日本語能力証明書（日本語能力試験 N1 または旧 1 級）を提出してください。（コピー可） 注 3：字数は 3,000 文字以上とする
		社会人	○	○	○	○			○ 注 3	○	○	
		外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	
	社会心理学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	・他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し 1 部および論文要旨（A4 判横書 4,000 字以内、原則として文書作成ソフト使用）3 部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。 ・外国人留学生入試出願者は、日本語能力証明書（日本語能力試験 N1 または旧 1 級）を提出してください。（コピー可）
法学	私法学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	出願者全員、修士論文またはその写し 1 部および論文要旨（A4 判横書 2,400 字以内、原則として文書作成ソフト使用）3 部を提出してください。 修士論文がない場合はそれに相当する研究業績（10,000 字程度）を提出してください。
	公法学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	
経営学	経営学・マーケティング	一般・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	・修士論文の写し 1 部および論文要旨 3 部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。 ※論文要旨・研究業績ともに A4 判横書 3 枚程度、原則手書き不可、日本語で作成。 注 4：「これまでの研究成果に関する小論文」（A4 判横書 3 枚程度）と「実務経験に関するレポート」（レポートは A4 判横書 1 枚程度）を提出してください。ともに原則として手書き不可、日本語で作成してください。あわせて、本学所定の研究計画書もご提出下さい。 ・専攻指定の語学能力証明書（p. 34 参照）を提出してください（コピー可）。
		社会人	○	○	○	○	○		○ 注 4	○	○	
	ビジネス・会計ファイナンス	一般・社会人	○	○	○	○	○			○	○	・修士論文の写し 1 部および論文要旨 4,000 字程度（A4 判横書、原則として文書作成ソフト使用）3 部を提出してください。修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。（日本語以外の論文の場合の要旨は日本語とする） ・専攻指定の語学能力証明書（p. 38 参照）を提出してください（コピー可）。
経済学	経済学	一般・社会人 外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	他大学出身者および本学他専攻出身者は、修士論文またはその写し 2 部および論文要旨（A4 判横書 2,400 字以内、原則として文書作成ソフト使用）3 部を提出してください。 ※修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。

※このページは博士後期課程出願者用です。博士前期課程・修士課程へ出願の方は pp. 47～49 をご確認ください。

出願書類一覧（博士後期課程）

試験区分 研究科・専攻		提出書類	志願票①②	志願票③【外国籍の方】	履歴調書（所定用紙）	調査書（所定用紙）	研究計画書（所定用紙）	事前課題（所定用紙）	専攻指定の研究計画書（所定用紙なし）	卒業（見込）証明書・成績証明書（改姓している場合は戸籍抄本を添付）	在留カードの両面コピー または住民票 ※在留資格・在留期間が記載されたもの【外国籍の方】	その他・修士論文・論文要旨・論文要約
国際学	国際地域学	一般・社会人・外国人留学生・JICA ボランティア	○	○	○	○	○			○	○	・修士論文の写し 1 部および論文要旨（A4 判横書、日本語 4,000 字程度あるいは英語 2,000words 程度、原則として文書作成ソフト使用）1 部を提出してください。修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。論文要旨ならびに研究業績は日本語または英語を使用してください。 ・JICA ボランティア入試出願者は、二次選考合格通知の写しを提出してください。 ・一般、外国人留学生入試出願者は英語能力証明書（p.43 参照）を提出すること。また外国人留学生入試出願者で論文（日本語）を選択する場合には、日本語能力証明書（p.43 参照）を提出すること。（コピー可）
国際観光学	国際観光学	一般・社会人・外国人留学生	○	○	○	○	○			○	○	修士論文の写し 1 部および論文要旨（A4 判横書、日本語 4,000 字程度あるいは英語 2,000words 程度、原則として文書作成ソフト使用）1 部を提出してください。修士論文がない場合はそれに相当する研究業績を提出してください。論文要旨ならびに研究業績は日本語または英語を使用してください。

※このページは博士後期課程出願者用です。博士前期課程・修士課程へ出願の方は pp. 47～49 をご確認ください。

東洋大学教育ローン

本学では、入学予定者を対象に、金融機関との提携による「東洋大学教育ローン」制度を設置しております。本制度は、無担保かつ低利で指定金融機関から入学時納付金の融資を受けられるもので、 東洋大学で学ぶ意志がありながら、 経済的理由により就学が困難な学生に対して、入学時の経済的負担を軽減することを目的としています。

なお、本制度は東洋大学へ確実に入学する方が対象となります。また、「東洋大学教育ローン」制度は、銀行ローンですから、確実な返済計画を立てたうえでお申込ください。

東洋大学教育ローンの概要

対象者（資格）	本学入学予定者の保護者等（原則として親） 銀行が指定する信用保証会社の保証が受けられる者（原則として保証人は不要です） 団体信用生命保険の加入については、銀行によって異なります。
使途	本学に納入する納付金（学費等）、その他（銀行によって異なります）
融資額	300 万円以内、500 万円以内（銀行によって異なります）
利率	新規融資分適用金利 各銀行の定める短期プライムレートに連動する長期貸出金利が基準となる変動金利 参考（2023 年 3 月現在の金利：2.237%～4.6%） 固定金利を設定している銀行もあります。詳細は各提携銀行に問い合わせてください。
担保	無担保
融資期間	６ヵ月以上 14 年以内（銀行によって異なります）
返済方法	毎月元利均等返済、ボーナス併用返済可
手続方法	東洋大学教育ローンの利用を希望する場合は、提携銀行に保護者等が直接申込手続を行ってください。 （申込から融資実行まで、少なくとも数日～２週間程度はかかります）
必要書類	1. 印鑑登録証明書（発行後１ヵ月以内） 2. 住民票（世帯全員記載、発行後１ヵ月以内） 3. 所得証明書　給与所得者：住民税決定通知書　自営業者：納税証明書 4. 健康保険証（写） 5. 合格通知書および入学手続用振込用紙 以上は基本的な書類ですので、詳細については各銀行に問い合わせてください。
備考	・本学の受験票と入学試験要項および上記の必要書類を持参のうえ「東洋大学教育ローン」の申込である旨を必ず伝え、提携銀行で融資の「仮申込」をしてください。 （申込から融資まで少なくとも数日～２週間程度かかりますが、各提携銀行により期日は異なります。入学手続締切日に間に合うよう、各提携銀行にご確認ください。） ・納付金は「仮申込」の手続完了後、合格通知書および入学手続用振込用紙に基づき融資が実行されます。 ・その他詳細については、各提携銀行に問い合わせてください。 提携銀行 みずほ銀行　三井住友銀行　三菱 UFJ 銀行　楽天銀行 問い合わせ先 みずほ銀行　本郷支店　TEL03-3812-3267 三井住友銀行　白山支店　TEL03-3828-5151 三菱ＵＦＪ銀行　池袋支店　TEL03-3984-2131 楽天銀行　教育ローン専用ダイヤル　TEL0120-61-6910 ※楽天銀行での申込にはコード番号が必要です。　提携校コード：TYU00074　申込コード：1001

入試結果

2022 年度秋入学

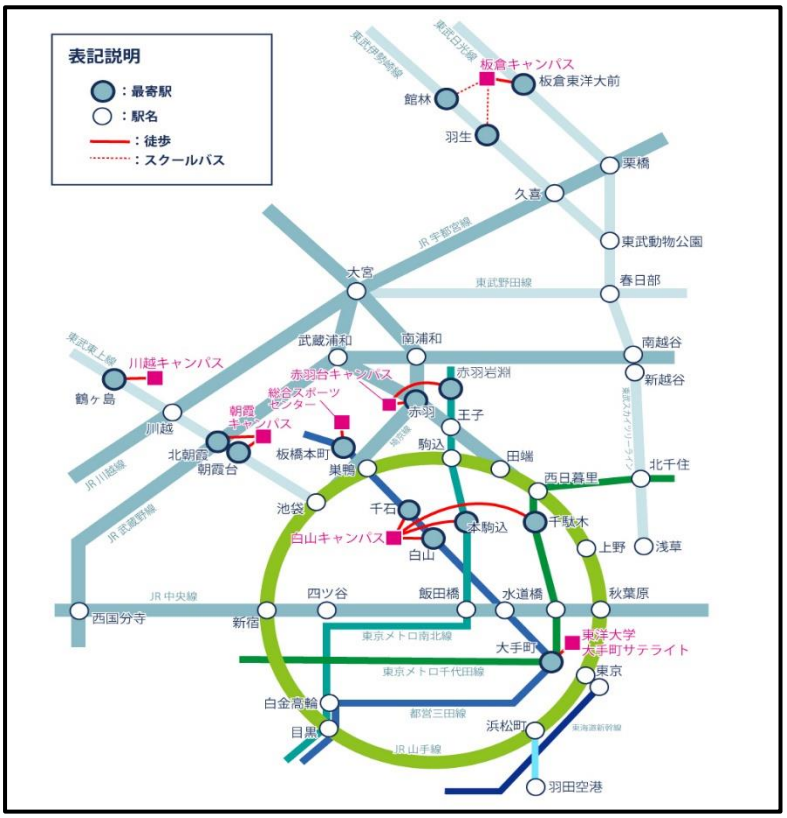
研究科	専攻	入学定員			授業形態	専修免許※2023 年度現在	試験結果			
		博士課程		修士課程			博士前期・修士課程		博士後期課程	
		前期課程	後期課程				受験者	合格者	受験者	合格者
経営学	ビジネス・会計ファイナンス	28 ※1	3	－	夜	－	0	0	0	0
経済学	公民連携	－	－	30	夜	－	12	12		
国際学	グローバル・イノベーション学	－	－	10	昼夜	－	4	4		
	国際地域学	15	5	－	昼夜	－	19	15	2	2
国際観光学	国際観光学	15	3	－	昼夜	－	4	1	0	0

2023 年度 4 月入学

研究科	専攻	入学定員			授業形態	専修免許※2023 年度現在	試験結果			
		博士課程		修士課程			博士前期・修士課程		博士後期課程	
		前期課程	後期課程				受験者	合格者	受験者	合格者
文学	哲学	5	3	－	昼	○	3	3	3	3
	インド哲学仏教学	4	3	－	昼	○	4	4	2	2
	日本文学文化	10	3	－	昼	○	9	6	2	2
	中国哲学	4	3	－	昼	○	3	2	0	0
	英文学	5	3	－	昼夜	○	1	1	0	0
	史学	6	3	－	昼夜	○	4	2	2	1
	教育学	20	4	－	昼夜	○	18	6	0	0
	国際文化コミュニケーション	10	3	－	昼	○	9	6	0	0
社会学	社会学	10	3	－	昼夜	○	58	13	1	0
	社会心理学	12	5	－	昼	○	13	9	3	2
法学	私法学	10	5	－	昼夜	○	14	9	3	3
	公法学	10	5	－	昼夜	○	3	1	0	0
経営学	経営学・マーケティング	22	4	－	昼夜	－	66	9	1	1
	ビジネス・会計ファイナンス	28 ※1	3	－	夜	－	88	29	2	2
経済学	経済学	10	3	－	昼夜	○	26	15	3	3
	公民連携	－	－	30	夜	－	26	20		
国際学	グローバル・イノベーション学	－	－	10	昼夜	－	5	5		
	国際地域学	15	5	－	昼夜	－	6	5	2	2
国際観光学	国際観光学	15	3	－	昼夜	－	26	11	3	3

※1　ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程 28 名の入学定員数には、同専攻中小企業診断士登録養成コースの 24 名を含みます。

アクセスマップ



◆白山キャンパス
JR 巣鴨駅から浅草寿町行バスで 10 分、「東洋大学前」下車。
都営地下鉄三田線「白山駅」徒歩 5 分。
都営地下鉄三田線「千石駅」徒歩 7 分。
東京メトロ南北線「本駒込駅」徒歩 5 分。
東京メトロ千代田線「千駄木」駅下車、徒歩 15 分。

◆大手町サテライト
JR「東京駅」丸の内北口徒歩 5 分。
東京メトロ東西線「大手町駅」徒歩 1 分。（B3 出口直結）
都営地下鉄三田線「大手町駅」徒歩 5 分。（B3 出口直結）

試験会場
（白山キャンパス）
案内図

入試に関する問い合わせは
大学院教務課　TEL：03-3945-7251　　Email：mldaig-ad@toyo.jp
https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/